

資料編

目次

資料 1：東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）の設置に関するアンケート調査リーフレット	p 3
資料 2：東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）の設置に関するアンケート調査設問一覧	p 6
資料 3：東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）の設置に関するアンケート調査回答集計	p 8
資料 4：我が国の人口のピーク	p 39
資料 5：将来推計人口	p 39
資料 6：東北6県における人口の変化	p 40
資料 7：圏域マネジメントと二層制の柔軟化	p 40
資料 8：国土のグランドデザイン2050基本的考え方	p 41
資料 9：団塊の世代の後期高齢者入りを見据えた基盤強化・全世代型社会保証改革	p 41
資料10：地方創生に資する地方大学が目指すべき方向性	p 42
資料11：魅力ある地方大学の創出	p 42
資料12：医療分野の研究開発に関する成果目標	p 43

東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）の 設置に関するアンケート調査の実施について（ご依頼）

東北医科薬科大学では令和 5 年度に大学院医学研究科設置を構想しております。設置計画の検討にあたり皆様のご意向を参考にさせて頂きたく、大変恐れ入りますが、下記概要をご一読頂いた上で、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

■課程の概要

設置時期	2023 年 4 月（令和 5 年 4 月）（予定）
名称	東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）
学位の種類	博士（医学）（予定）
標準修了年限	4 年
納付金	入学金 200,000 円、授業料 400,000 円（予定）
入学定員（収容定員）	10 名（40 名）（予定）
開設場所	宮城県仙台市宮城野区福室 1-15-1 東北医科薬科大学 福室キャンパス

■設置の目的

本学は、東日本大震災からの復興、東北地方における医師不足の解消といった社会的要請に応えることを使命とし、平成 28 年 4 月に医学部を開設いたしました。

東北地方の「地方大学」としての役割を果たすべく、「われら真理の扉をひらかむ」という建学の精神のもと、東北地方の医療へ 80 有余年貢献してきた薬学部と地域医療を支える医師の育成を使命として開設された医学部の教育・研究体制を基礎として活用し、地域医療を支える高度・専門的な人材育成を目的として、医学研究科の設置を計画いたしました。

■募集対象者別にみた特徴

①養成する人材像 ②学びのキーワード ③想定される進路

【医師（臨床研修終了後に入学可能となります。）】

- ① 地域完結型医療に貢献できる高度で専門的な知識・技能を有する医師。または、超高齢社会に対応した高度・先進的医療技術の開発と臨床応用を支える医学・生命科学の研究者・教員
- ② 地域医学、高度先進医療、先進医療開発、臨床研究、橋渡し研究
- ③ 地域病院で高度な専門治療に関わり、部門の責任を担う医師/大学教員/研究機関の研究リーダーなど

【薬剤師、薬学部生（6年制）】

- ① 地域完結型医療に貢献する高度専門職業人。または、超高齢社会に対応した高度・先進的医療技術の開発と臨床応用を支える医学・薬学・生命科学の研究者・教員
- ② 地域医学、高度先進医療、先進医療開発、基礎医学研究、臨床研究、橋渡し研究
- ③ 地域病院で高度な専門治療に関わり、部門の責任を担う薬剤師/臨床研究を推進する専門職/大学教員/企業・研究機関の研究リーダーなど

【看護師（修士課程修了者）、医療技術職（修士課程修了者）】

- ① 地域完結型医療に貢献できる高度で専門的な知識・技能を有する医療技術職。または、超高齢社会に対応した高度・先進的医療技術の開発と臨床応用を支える医学関連領域の研究者・教員
- ② 地域医学、予防医学、高度先進医療、臨床研究、疫学研究、橋渡し研究
- ③ 地域病院で高度な専門医療、予防に関わり、部門の責任を担う看護師/臨床研究を推進する専門職/大学教員/企業・研究機関・自治体のリーダーなど

【生命科学研究者（薬学（4年制）、農学、理学、工学の修士課程修了者）】

- ① 超高齢社会における各種疾病の病態解明、診断・治療法開発に貢献する医学・生命科学の研究者・教員を養成する。
- ② 地域医学、生命科学、基礎医学研究、システム情報科学、ポストゲノム科学、健康科学
- ③ 大学、および国・自治体・企業の研究所において、基礎医学研究・教育に従事する研究者・教員

■社会人に対する配慮

本研究科では、仕事に従事しながら学修を望む方への学修機会の提供を目的とし、社会人学生を積極的に受け入れています。

- ・修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができ、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。（長期履修学生制度）
- ・大学院設置基準第14条に規定する教育方法の特例に基づき、夜間や土曜日にも履修できるよう配慮します。（昼夜開講制度）
- ・講義科目では、1科目あたり、3分の1まではメディア（オンタイム）による遠隔授業を可能としています。また、授業の予習・復習の教材と本学附属図書館のオンライン利用および学内で開催される講演やセミナーの聴講など、学外からでも学べる環境を整備します。

■東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻(博士課程)(仮称)と類似する近隣大学院(博士課程)

所在地	大学院名	研究科名	専攻名	入学定員	入学金 設備費等	授業料	初年次納付金 合計
宮城県	東北医科薬科大学大学院	医学研究科	医学専攻	10名	200,000円	400,000円	600,000円
岩手県	岩手医科大学大学院	医学研究科	生理系専攻	6名	300,000円 (卒業生：0円)	425,000円	725,000円 (卒業生：425,000円)
			病理系専攻	3名			
			社会医学系専攻	2名			
			内科系専攻	20名			
栃木県	自治医科大学大学院	医学研究科	地域医療学系	18名	282,000円	585,800円	867,800円
			人間生物学系	4名			
			環境生態学系	3名			
宮城県	東北大学大学院	医学系研究科	医科学専攻	75名	282,000円	535,800円	817,800円

注1) 各大学情報については、募集要項、公式ウェブサイト等により調査しました。

注2) 各大学院の学費については、諸会費などを含んでいない場合があるため、概算として参考にしてください。

注3) 東北医科薬科大学大学院の学費は予定であり、変更する場合があります。

■アクセス

東北医科薬科大学 福室キャンパス

〒983-8536

宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15番1号

【JR 仙石線を利用】

○塩釜・石巻方面

→陸前高砂駅下車（徒歩7分）※約600メートル

【仙台市営バスを利用】

JR「仙台駅」西口（アイリス青葉ビル前）50番のりば

○高砂市営住宅西行

→陸前高砂駅 下車（徒歩7分）※約600メートル

○蒲生（中野新町）行

→東北医科薬科大学病院入口 下車（徒歩3分）

【宮城交通を利用】

JR「仙台駅」西口（アイリス青葉ビル前）50番のりば

○仙台港フェリーターミナル行

（アウトレット、夢メッセみやぎ経由）

→陸前高砂駅 下車（徒歩7分）※約600メートル



※以上の内容は予定であるため、設置準備を進めていく中で変更する

可能性があります。

【アンケート回答方法】

Webにてご回答頂きます。下記 URL または右の QR コードより回答画面へお進みください。

<https://limesurvey.tohoku-mpu.ac.jp/limesurvey/index.php/273462?lang=ja>



【アンケート回答期限】

令和4年2月28日（月）までにご回答をお願いいたします。

【アンケートに関するお問合せ先】

東北医科薬科大学 福室キャンパス 医学部事務部庶務課

TEL : 022-290-8850 (医学部代表電話) Email : igakubu-jimu@tohoku-mpu.ac.jp

以上

**東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）の
設置に関するアンケート調査**

本調査への参加は任意によるものとし、参加の有無による不利益は一切ないこと、調査は匿名としプライバシーへの配慮を行うことをお約束いたします。本アンケートは、入学希望者数の統計や大学院プログラム作成の目的にのみ利用し、他の目的には使用はいたしません。本アンケートを回答するにあたり、進路先等を拘束いたしません。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■回答は、該当する番号の口に✓を付けてください。

問 1. 性別についておたずねします。あてはまるものを 1つ お選びください。

- 1. 男性
- 2. 女性

問 2. 職種あるいは学年についておたずねします。あてはまるものを 1つ お選びください。

【社会人の方】

- 1. 医学部教員
- 2. 研修医（1年目）
- 3. 研修医（2年目）
- 4. 専攻医
- 5. 看護師（修士課程修了）
- 6. 薬剤師（学部卒業（6年制課程））
- 7. 薬剤師（修士課程修了）
- 8. 医療技術職（修士課程修了）

※医師は臨床研修終了後に入学可能となります。

※専攻医については、本院の専門医研修プログラムに、並行して大学院教育（社会人大学院）を受講できる「大学院コース」を設定予定のため、同時に大学院進学が可能となります。

【学部学生の方】

- 9. 医学部生（6年生）
- 10. 医学部生（5年生）
- 11. 医学部生（4年生）
- 12. 薬学部生（6年生）
- 13. 薬学部生（5年生）

参考：学部生の大学院医学研究科（仮称）入学時期の目安

時期	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度
	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
大学院の状況	○認可申請				○大学院開設（予定）						
医学部6年生	・卒業		・臨床研修 →		→		・入学可能				
医学部5年生			・卒業		・臨床研修 →		→		・入学可能		
医学部4年生					・卒業		・臨床研修 →		→		・入学可能
薬学部6年生	・卒業				・入学可能						
薬学部5年生			・卒業		・入学可能						

※医学部の学生は臨床研修終了後、入学可能となります。

※薬学部の学生は大学院開設後であれば、卒業後入学が可能です。

東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）の設置に関するアンケート調査結果

大区分	質問内容 問2.職種・学年等	回答数	問1.性別		問3. 東北医科薬科大学大学院医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）について興味・関心がありますか。 (3.を選択した方は回答終了)			問4. 2023年4月開設予定の東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）を受験し、合格された場合、入学を希望されますか。 (4.を選択した方は回答終了)				問5. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）に進学した場合、どの学問領域での研究を希望されますか。				問6. どのような学習環境があれば進学しやすいですか。 (複数回答可)				
			1.男性	2.女性	1.大いに興味・関心がある	2.興味・関心がある	3.興味・関心はない	1.進学を希望する	2.開設後、5年以内の進学を検討する	3.将来、必要を感じた場合には進学を検討する	4.進学を希望しない	1.基礎医学領域（諸疾患の病態を生命科学的に解析し、その成果の臨床応用を目指す研究領域）	2.臨床医学領域（新たな診断・治療法の開発および臨床応用を目指す研究領域）	3.社会地域医学領域（地域医療が抱える課題を、医療的側面と社会的側面から、その相互作用も含めて解決を目指す研究領域）	問4にて、1～3を回答したもののうち未回答	1.夜間の開講	2.土曜日の開講	3.長期履修制度	4.専門研修（専攻医）期間中の進学環境	5.その他
01_医学部教員	01.医学部教員	38	24	14	8	13	17	9	1	8	3	2	10	6		11	13	8	3	5
02_研修医・専攻医	02.研修医（1年目）	9	8	1	0	5	4	0	0	4	1	2	2	0		3	0	1	2	0
	03.研修医（2年目）	11	9	2	3	5	3	2	3	3	0	1	5	2		2	3	3	7	0
	04.専攻医	12	10	2	1	10	1	1	3	5	2	3	5	1		5	5	5	2	0
03_医療関係職	05.看護師（修士課程修了）	11	1	10	1	8	2	0	0	9	0	1	0	8		5	6	8	1	1
	06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	36	25	11	12	16	8	10	2	11	5	5	7	11		17	17	6	2	3
	07.薬剤師（修士課程修了）	10	5	5	1	6	3	3	0	4	0	2	3	2		4	5	4	1	0
	08.医療技術職（修士課程修了）	8	3	5	5	3	0	5	1	2	0	1	4	3		6	4	4	0	0
04_医学部学生 ※	09.医学部生（6年生）	65	50	15	12	36	17	2	9	35	2	2	28	14	2	22	23	21	29	5
	10.医学部生（5年生）	80	62	18	10	47	23	5	3	45	4	5	31	11	6	30	32	26	29	5
	11.医学部生（4年生）	82	55	27	12	44	26	5	8	42	1	5	36	13	1	20	25	26	38	11
05_薬学部学生	12.薬学部生（6年生）	47	24	23	2	16	29	0	1	12	5	2	6	5		9	6	5	3	0
	13.薬学部生（5年生）	64	16	48	3	14	47	2	0	8	7	2	4	3	1	4	7	6	2	0
06_修士課程在学学生	14.薬科学	8	3	5	1	2	5	1	0	2	0	2	1	0		1	1	1	2	0
	15.看護学	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1		1	1	0	0	0
	16.農学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
	17.理学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
	18.工学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
	19.その他（健康栄養学）	2	0	2	0	2	0	0	0	0	2	0	2	0		2	2	2	0	0
合計		484	296	188	71	228	185	45	31	193	30	37	142	80	10	142	150	126	121	30

学問領域希望比率： 13.8% 52.8% 29.7% 3.7%

設問番号	問1 ※必須	問3 ※必須	問4	問5	問6 ※複数選択可
有効回答数	484	484	299	269	569

※医学部生は卒業後、2年間の臨床研修が終了した後、本研究科への進学が可能となる。

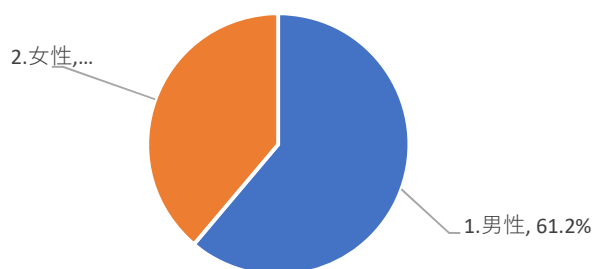
**東北医科薬科大学大学院 医学研究科 医学専攻（博士課程）（仮称）の
設置に関するアンケート調査結果（全体版）**

1. アンケート有効回答者数・・・・・・・・・・・・ 484 名
2. 回答内訳

問 1. 性別についておたずねします。あてはまるものを1つお選びください。

回答	人数	割合
1.男性	296	61.2%
2.女性	188	38.8%
計	484	100.0%

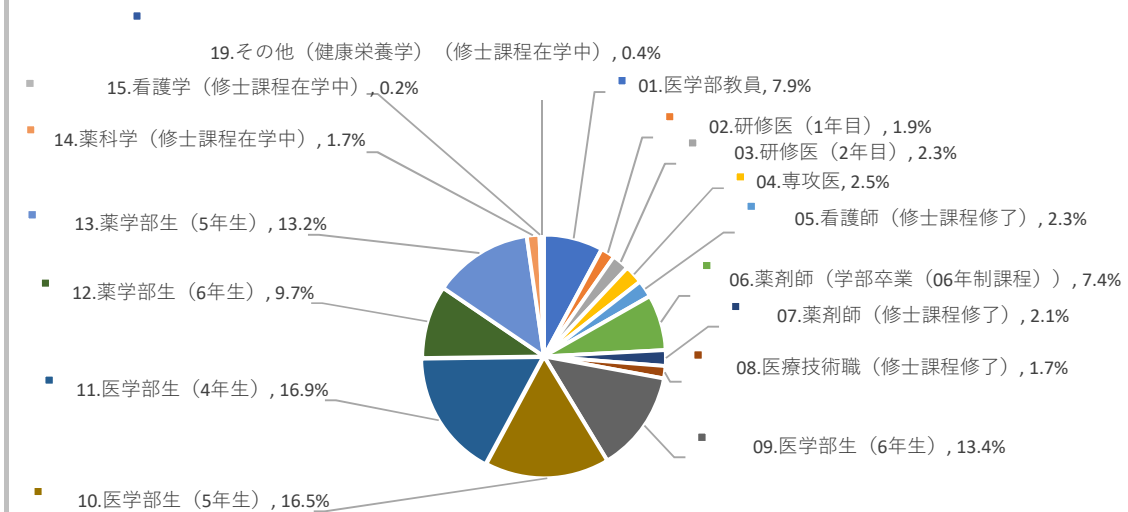
問 1. 性別についておたずねします。あてはまるものを1つお選びください。



問 2. 職種あるいは学年についておたずねします。あてはまるものを1つお選びください。

回答者区分	人数	割合
01.医学部教員	38	7.9%
02.研修医（1年目）	9	1.9%
03.研修医（2年目）	11	2.3%
04.専攻医	12	2.5%
05.看護師（修士課程修了）	11	2.3%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	36	7.4%
07.薬剤師（修士課程修了）	10	2.1%
08.医療技術職（修士課程修了）	8	1.7%
09.医学部生（6年生）	65	13.4%
10.医学部生（5年生）	80	16.5%
11.医学部生（4年生）	82	16.9%
12.薬学部生（6年生）	47	9.7%
13.薬学部生（5年生）	64	13.2%
14.薬科学（修士課程在学中）	8	1.7%
15.看護学（修士課程在学中）	1	0.2%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）（修士課程在学中）	2	0.4%
計	484	100.0%

問 2. 職種あるいは学年についておたずねします。あてはまるものを1つお選びください。

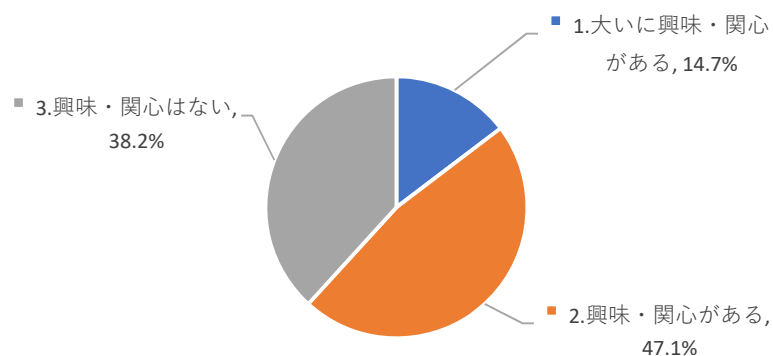


問 3. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻(博士課程)(仮称)について興味・関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

回答	人数	割合
1.大いに興味・関心がある	71	14.7%
2.興味・関心がある	228	47.1%
3.興味・関心はない	185	38.2%
計	484	100.0%

※ 3.を選択した人は回答終了

問 3. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻(博士課程)(仮称)について興味・関心がありますか。

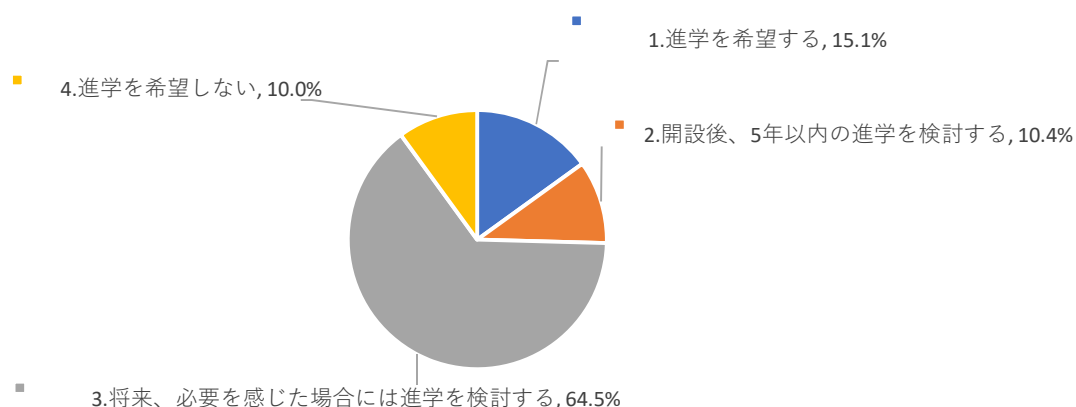


問4. 2023年4月開設予定の東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）を受験し、合格された場合、入学を希望されますか。あてはまるものを1つお選びください。

回答	人数	割合
1.進学を希望する	45	15.1%
2.開設後、5年以内の進学を検討する	31	10.4%
3.将来、必要を感じた場合には進学を検討	193	64.5%
4.進学を希望しない	30	10.0%
計	299	100.0%

※ 4.を選択した人は回答終了

問4. 2023年4月開設予定の東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）を受験し、合格された場合、入学を希望されますか。あてはまるものを1つお選びください。

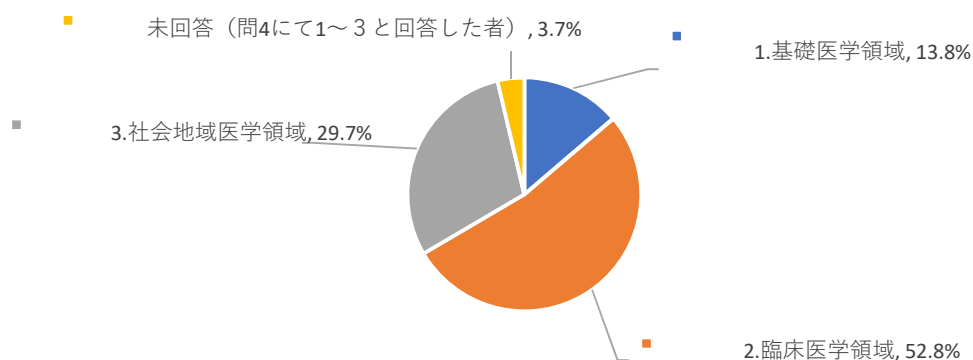


問5. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）に進学した場合、どの学問領域での研究を希望されますか。あてはまるものを1つお選びください。

回答	人数	割合
1.基礎医学領域	37	13.8%
2.臨床医学領域	142	52.8%
3.社会地域医学領域	80	29.7%
未回答（問4にて1～3と回答した者）	10	3.7%
計	269	100.0%

※問4にて1～3を回答したもののうち未回答が10名有り

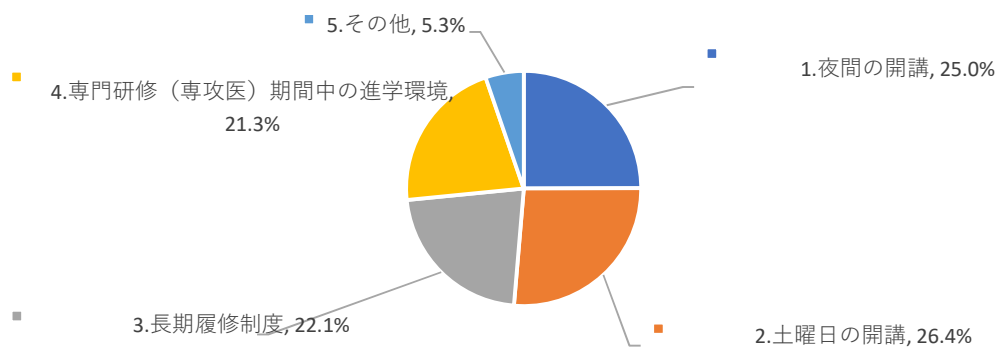
問5. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）に進学した場合、どの学問領域での研究を希望されますか。あてはまるものを1つお選びください。



問6. どのような学習環境があれば進学しやすいですか。あてはまるもの全て選択してください。

回答	人数	割合
1.夜間の開講	142	25.0%
2.土曜日の開講	150	26.4%
3.長期履修制度	126	22.1%
4.専門研修（専攻医）期間中の進学環境	121	21.3%
5.その他	30	5.3%
計	569	100.0%

問6. どのような学習環境があれば進学しやすいですか。あてはまるもの全て選択してください。



5.その他の具体的内容

	回答者区分	進学希望※	コメント内容（原文ママ）
1	01.医学部教員	1	オンライン
2	01.医学部教員	1	イーラーニング、ウェブ等
3	01.医学部教員	1	オンライン
4	01.医学部教員	2	学費の補助
5	01.医学部教員	3	基本的にオンラインのプログラム（育児中のため）
6	05.看護師（修士課程修了）	3	対面とリモート併用
7	06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	1	4年制卒の人を受け入れる体制はないのでしょうか？
8	06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	3	自由に研究する環境があること
9	06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	3	小松島での社会人大学院を経た感想だが、土曜や夜間の開講は必要と思うと同時に、平日日中の集会などは2週間以上前に最初の連絡と、数日前的リマインドをいただけると非常に助かると思いました。
10	09.医学部生（6年生）	3	単位習得のためのオンラインでの受講環境
11	09.医学部生（6年生）	3	オンライン
12	09.医学部生（6年生）	3	県外勤務でも可能
13	09.医学部生（6年生）	3	映像授業
14	09.医学部生（6年生）	3	大学病院の設備が上昇すれば
15	10.医学部生（5年生）	1	宮城A枠でも入学し、卒業できる学習環境
16	10.医学部生（5年生）	1	オンラインを利用した環境
17	10.医学部生（5年生）	3	オンライン
18	10.医学部生（5年生）	3	オンライン（宮城県以外で働かざるを得ない地域枠の人向け）
19	10.医学部生（5年生）	3	通学せずオンラインでの聴講ができる。
20	11.医学部生（4年生）	1	女性ライブイベントへの配慮
21	11.医学部生（4年生）	2	リモートでの受講可

00_全体

22	11.医学部生（4年生）	2	宮城県以外の修学資金枠の場合通いづらい上に義務年限とどう折り合いをつけていいかわからない
23	11.医学部生（4年生）	2	A枠宮城の学生も通えるプラン
24	11.医学部生（4年生）	2	自習室の設置、県外で義務年限期間を消化している最中でも通える、臨床と並行してでき義務年限を止めなくていい、
25	11.医学部生（4年生）	2	まだよくわからない。
26	11.医学部生（4年生）	3	金をくれれば
27	11.医学部生（4年生）	3	修学資金枠の勤務義務と並行して学習できる環境
28	11.医学部生（4年生）	3	遠隔での開講
29	11.医学部生（4年生）	3	遠隔での教育
30	11.医学部生（4年生）	3	海外留学支援

※ 進学希望の欄については問4の回答を下記の番号に倣って記載している。

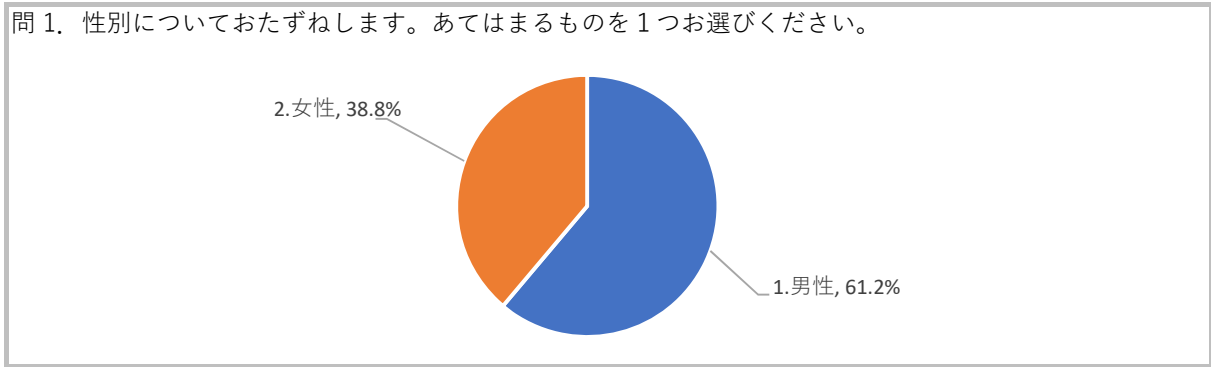
- 1.進学を希望する・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2.開設後、5年以内の進学を検討する・・・・・・2
- 3.将来、必要を感じた場合には進学を検討する・・・・・・3

01_設問毎の集計 (問1.性別)

問 1. 性別についておたずねします。あてはまるものを1つお選びください。

1. 有効回答者数・・・・・・・・・・・・・・・・ 484 名
2. 回答内訳

回答	人数	割合
1.男性	296	61.2%
2.女性	188	38.8%
計	484	100.0%



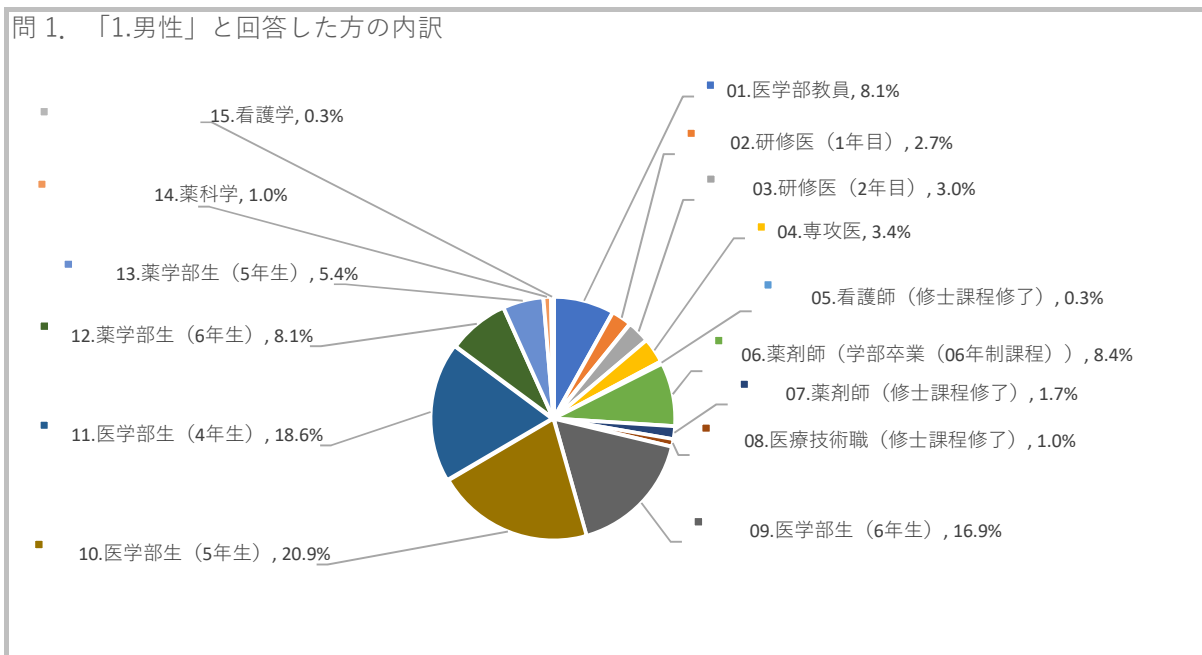
01_設問毎の集計（問1.性別）

3. 回答毎の内訳

（1）「1.男性」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	24	8.1%
02.研修医（1年目）	8	2.7%
03.研修医（2年目）	9	3.0%
04.専攻医	10	3.4%
05.看護師（修士課程修了）	1	0.3%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	25	8.4%
07.薬剤師（修士課程修了）	5	1.7%
08.医療技術職（修士課程修了）	3	1.0%
09.医学部生（6年生）	50	16.9%
10.医学部生（5年生）	62	20.9%
11.医学部生（4年生）	55	18.6%
12.薬学部生（6年生）	24	8.1%
13.薬学部生（5年生）	16	5.4%
14.薬科学	3	1.0%
15.看護学	1	0.3%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	296	100.0%

問 1. 「1.男性」と回答した方の内訳

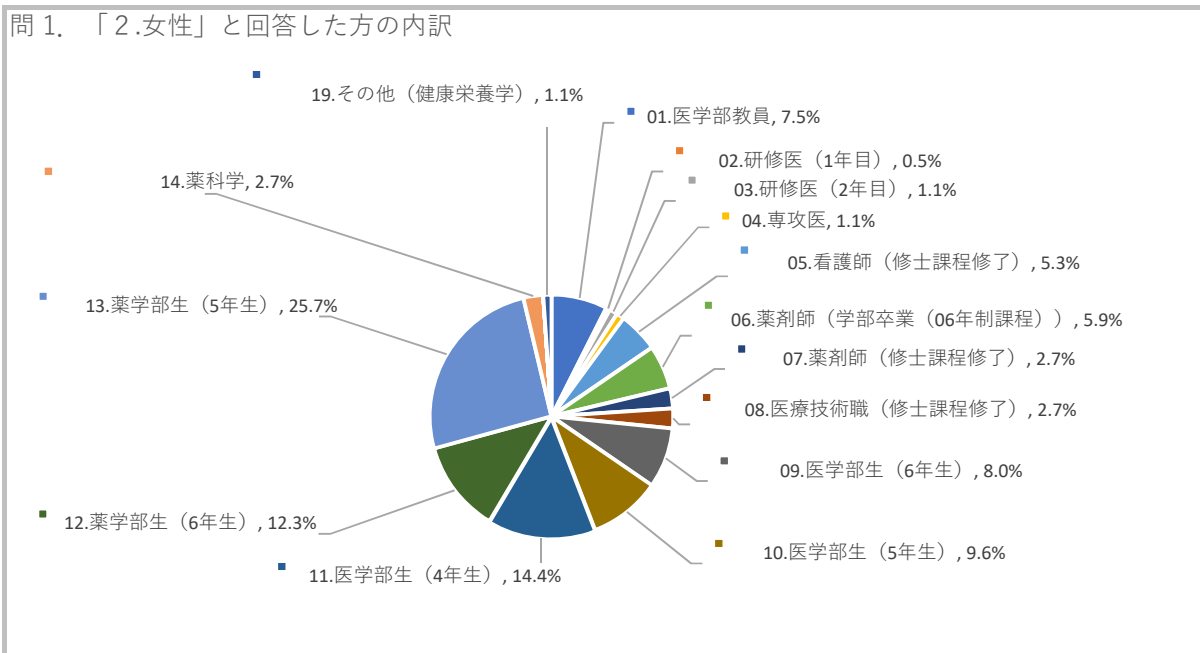


01_設問毎の集計（問1.性別）

（2）「2.女性」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	14	7.5%
02.研修医（1年目）	1	0.5%
03.研修医（2年目）	2	1.1%
04.専攻医	2	1.1%
05.看護師（修士課程修了）	10	5.3%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	11	5.9%
07.薬剤師（修士課程修了）	5	2.7%
08.医療技術職（修士課程修了）	5	2.7%
09.医学部生（6年生）	15	8.0%
10.医学部生（5年生）	18	9.6%
11.医学部生（4年生）	27	14.4%
12.薬学部生（6年生）	23	12.3%
13.薬学部生（5年生）	48	25.7%
14.薬科学	5	2.7%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	2	1.1%
計	187	100.5%

問 1. 「2.女性」と回答した方の内訳



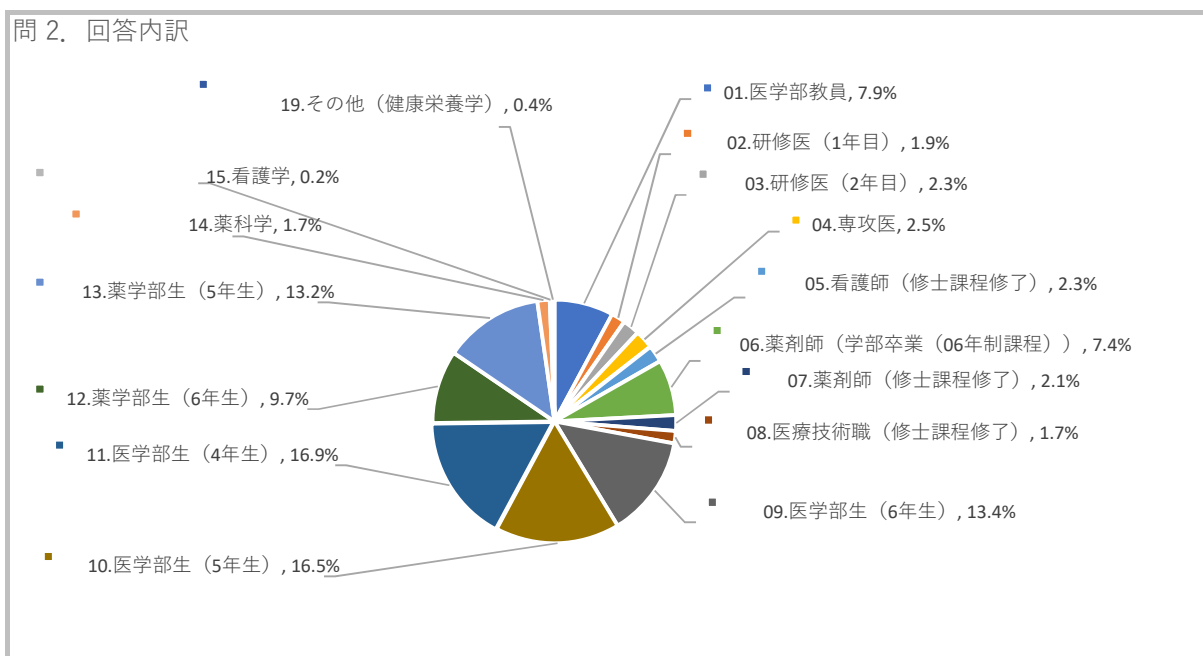
02_設問毎の集計（問2.職業・学年）

問 2. 職種あるいは学年についておたずねします。あてはまるものを1つお選びください。

1. 有効回答者数・・・・・・・・・・・・・・・・ 484 名

2. 回答内訳

回答	人数	割合
01.医学部教員	38	7.9%
02.研修医（1年目）	9	1.9%
03.研修医（2年目）	11	2.3%
04.専攻医	12	2.5%
05.看護師（修士課程修了）	11	2.3%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	36	7.4%
07.薬剤師（修士課程修了）	10	2.1%
08.医療技術職（修士課程修了）	8	1.7%
09.医学部生（6年生）	65	13.4%
10.医学部生（5年生）	80	16.5%
11.医学部生（4年生）	82	16.9%
12.薬学部生（6年生）	47	9.7%
13.薬学部生（5年生）	64	13.2%
14.薬科学	8	1.7%
15.看護学	1	0.2%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	2	0.4%
計	484	100.0%



03_設問毎の集計（問3.興味関心）

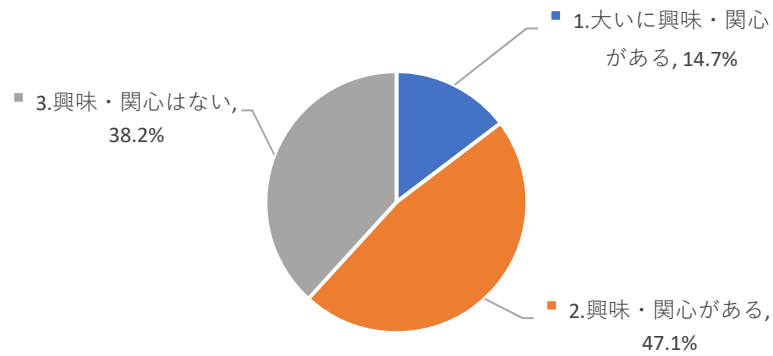
問3. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）について興味・関心がありますか。

1. アンケート有効回答者数・・・・・・・・・・・・ 484 名
2. 回答内訳

回答	人数	割合
1.大いに興味・関心がある	71	14.7%
2.興味・関心がある	228	47.1%
3.興味・関心はない	185	38.2%
計	484	100.0%

※ 3.を選択した人は回答終了

問3. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）について興味・関心がありますか。



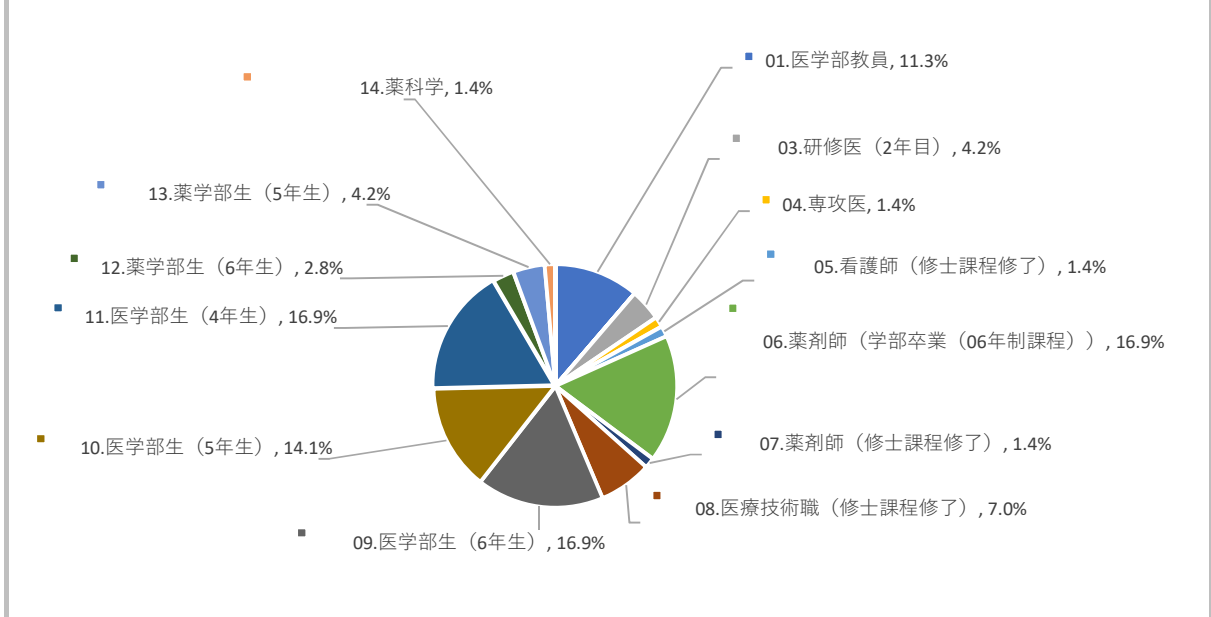
03_設問毎の集計（問3.興味関心）

3. 回答毎の内訳

(1) 「1.大いに興味・関心がある」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	8	11.3%
02.研修医（1年目）	0	0.0%
03.研修医（2年目）	3	4.2%
04.専攻医	1	1.4%
05.看護師（修士課程修了）	1	1.4%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	12	16.9%
07.薬剤師（修士課程修了）	1	1.4%
08.医療技術職（修士課程修了）	5	7.0%
09.医学部生（6年生）	12	16.9%
10.医学部生（5年生）	10	14.1%
11.医学部生（4年生）	12	16.9%
12.薬学部生（6年生）	2	2.8%
13.薬学部生（5年生）	3	4.2%
14.薬科学	1	1.4%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	71	100.0%

問 3. 「1.大いに興味・関心がある」と回答した方の内訳

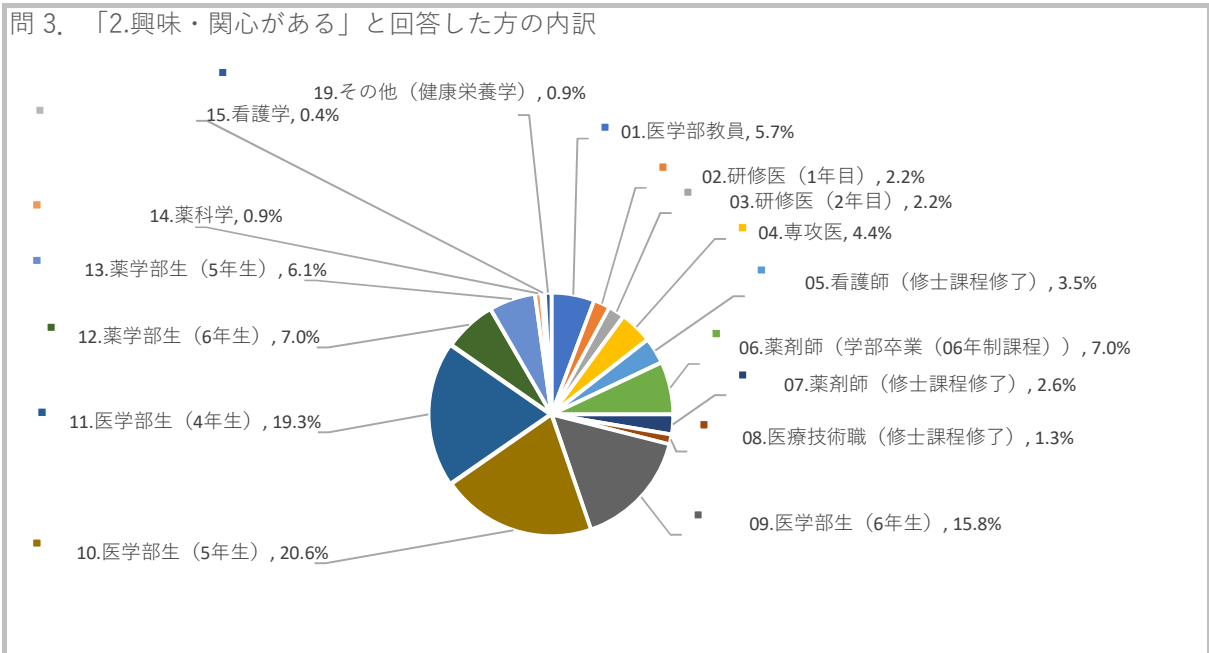


03_設問毎の集計（問3.興味関心）

（2）「2.興味・関心がある」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	13	5.7%
02.研修医（1年目）	5	2.2%
03.研修医（2年目）	5	2.2%
04.専攻医	10	4.4%
05.看護師（修士課程修了）	8	3.5%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	16	7.0%
07.薬剤師（修士課程修了）	6	2.6%
08.医療技術職（修士課程修了）	3	1.3%
09.医学部生（6年生）	36	15.8%
10.医学部生（5年生）	47	20.6%
11.医学部生（4年生）	44	19.3%
12.薬学部生（6年生）	16	7.0%
13.薬学部生（5年生）	14	6.1%
14.薬科学	2	0.9%
15.看護学	1	0.4%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	2	0.9%
計	228	100.0%

問 3. 「2.興味・関心がある」と回答した方の内訳

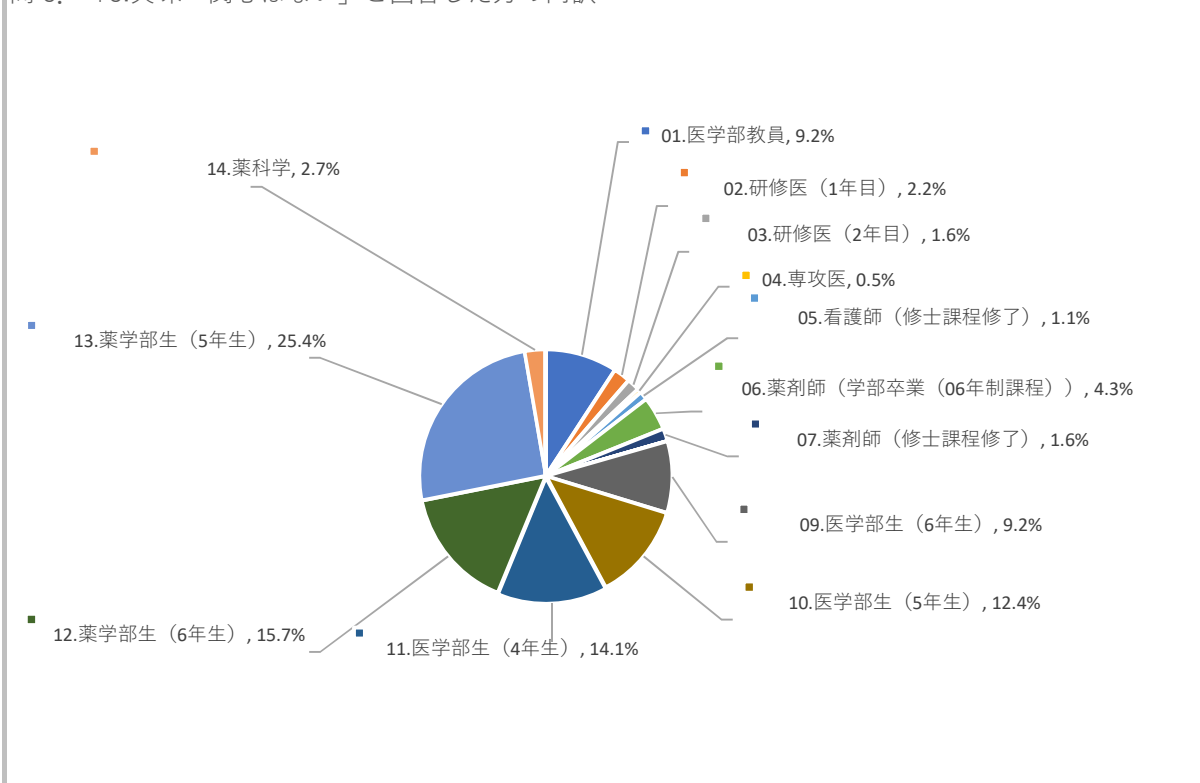


03_設問毎の集計（問3.興味関心）

（3）「3.興味・関心はない」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	17	9.2%
02.研修医（1年目）	4	2.2%
03.研修医（2年目）	3	1.6%
04.専攻医	1	0.5%
05.看護師（修士課程修了）	2	1.1%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	8	4.3%
07.薬剤師（修士課程修了）	3	1.6%
08.医療技術職（修士課程修了）	0	0.0%
09.医学部生（6年生）	17	9.2%
10.医学部生（5年生）	23	12.4%
11.医学部生（4年生）	26	14.1%
12.薬学部生（6年生）	29	15.7%
13.薬学部生（5年生）	47	25.4%
14.薬科学	5	2.7%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	185	100.0%

問 3. 「3.興味・関心はない」と回答した方の内訳



04_設問毎の集計（問4. 入学意向）

問4. 2023年4月開設予定の東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）を受験し、合格された場合、入学を希望されますか。

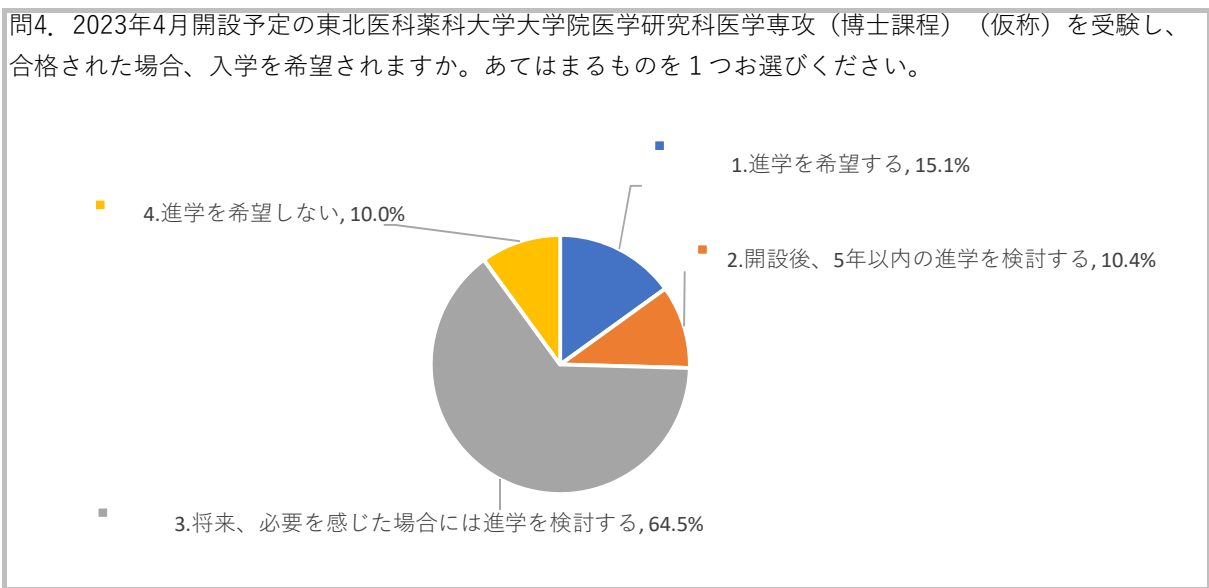
1. アンケート有効回答者数・・・・・・・・・・・・・・ 299 名

2. 回答内訳

回答	人数	割合
1.進学を希望する	45	15.1%
2.開設後、5年以内の進学を検討する	31	10.4%
3.将来、必要を感じた場合には進学を検討	193	64.5%
4.進学を希望しない	30	10.0%
計	299	100.0%

※ 4.を選択した人は回答終了

問4. 2023年4月開設予定の東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）を受験し、合格された場合、入学を希望されますか。あてはまるものを1つお選びください。



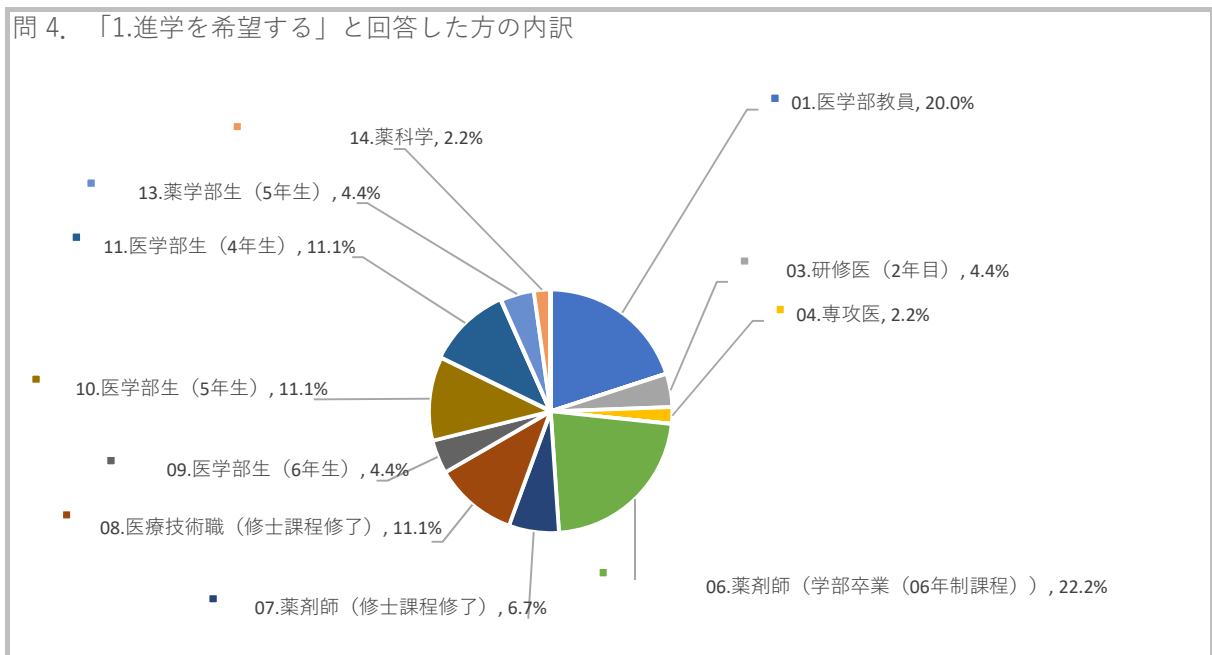
04_設問毎の集計（問4. 入学意向）

3. 回答毎の内訳

(1) 「1.進学を希望する」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	9	20.0%
02.研修医（1年目）	0	0.0%
03.研修医（2年目）	2	4.4%
04.専攻医	1	2.2%
05.看護師（修士課程修了）	0	0.0%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	10	22.2%
07.薬剤師（修士課程修了）	3	6.7%
08.医療技術職（修士課程修了）	5	11.1%
09.医学部生（6年生）	2	4.4%
10.医学部生（5年生）	5	11.1%
11.医学部生（4年生）	5	11.1%
12.薬学部生（6年生）	0	0.0%
13.薬学部生（5年生）	2	4.4%
14.薬科学	1	2.2%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	45	100.0%

問4. 「1.進学を希望する」と回答した方の内訳

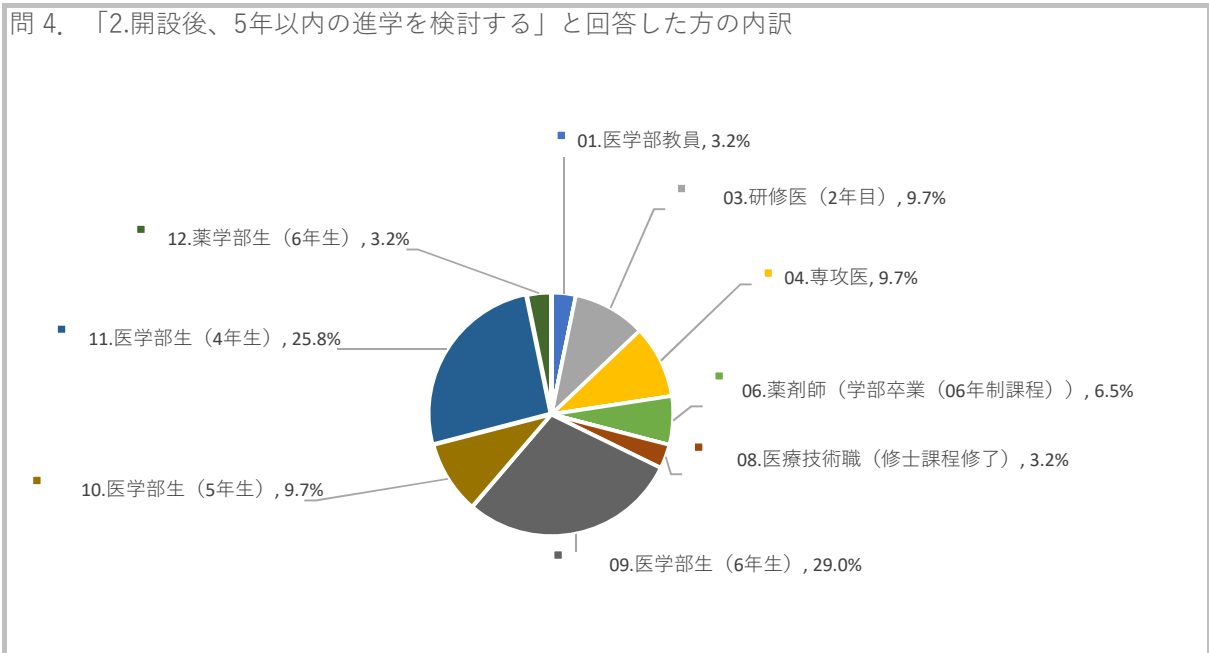


04_設問毎の集計（問4. 入学意向）

（2）「2.開設後、5年以内の進学を検討する」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	1	3.2%
02.研修医（1年目）	0	0.0%
03.研修医（2年目）	3	9.7%
04.専攻医	3	9.7%
05.看護師（修士課程修了）	0	0.0%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	2	6.5%
07.薬剤師（修士課程修了）	0	0.0%
08.医療技術職（修士課程修了）	1	3.2%
09.医学部生（6年生）	9	29.0%
10.医学部生（5年生）	3	9.7%
11.医学部生（4年生）	8	25.8%
12.薬学部生（6年生）	1	3.2%
13.薬学部生（5年生）	0	0.0%
14.薬科学	0	0.0%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	31	100.0%

問 4. 「2.開設後、5年以内の進学を検討する」と回答した方の内訳

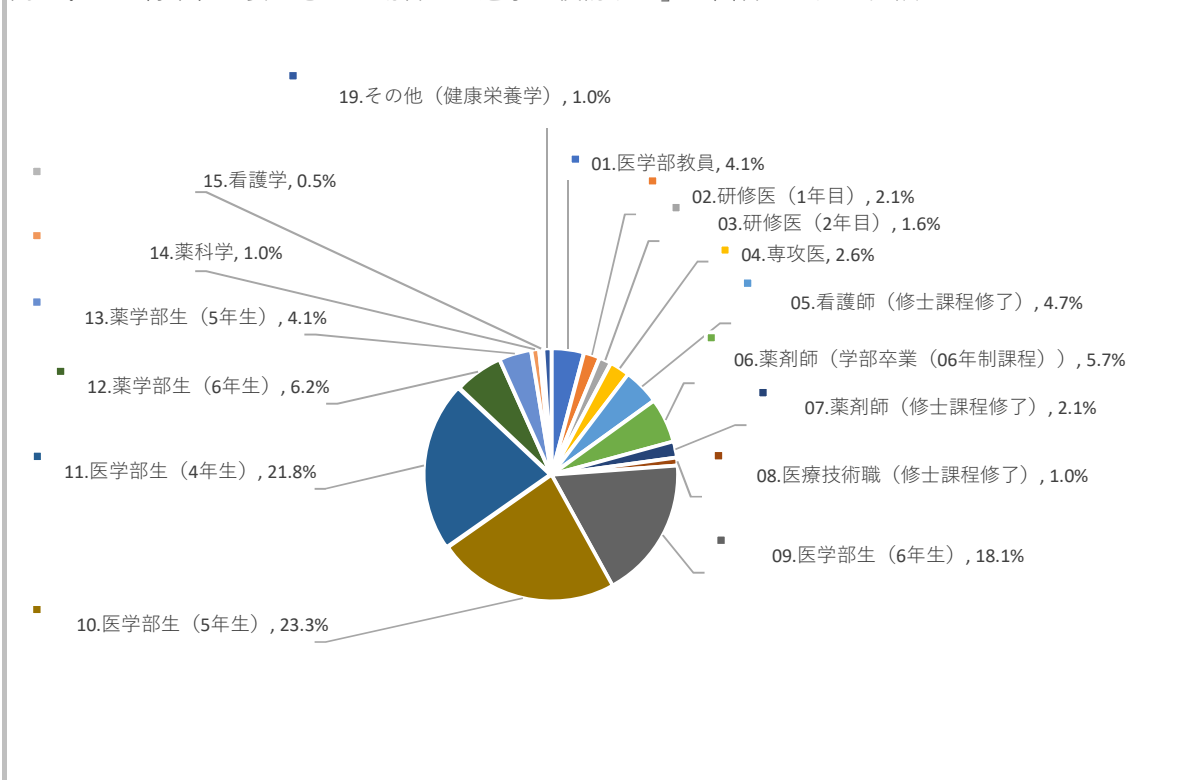


04_設問毎の集計（問4. 入学意向）

（3）「3.将来、必要を感じた場合には進学を検討する」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	8	4.1%
02.研修医（1年目）	4	2.1%
03.研修医（2年目）	3	1.6%
04.専攻医	5	2.6%
05.看護師（修士課程修了）	9	4.7%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	11	5.7%
07.薬剤師（修士課程修了）	4	2.1%
08.医療技術職（修士課程修了）	2	1.0%
09.医学部生（6年生）	35	18.1%
10.医学部生（5年生）	45	23.3%
11.医学部生（4年生）	42	21.8%
12.薬学部生（6年生）	12	6.2%
13.薬学部生（5年生）	8	4.1%
14.薬科学	2	1.0%
15.看護学	1	0.5%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	2	1.0%
計	193	100.0%

問4. 「3.将来、必要を感じた場合には進学を検討する」と回答した方の内訳

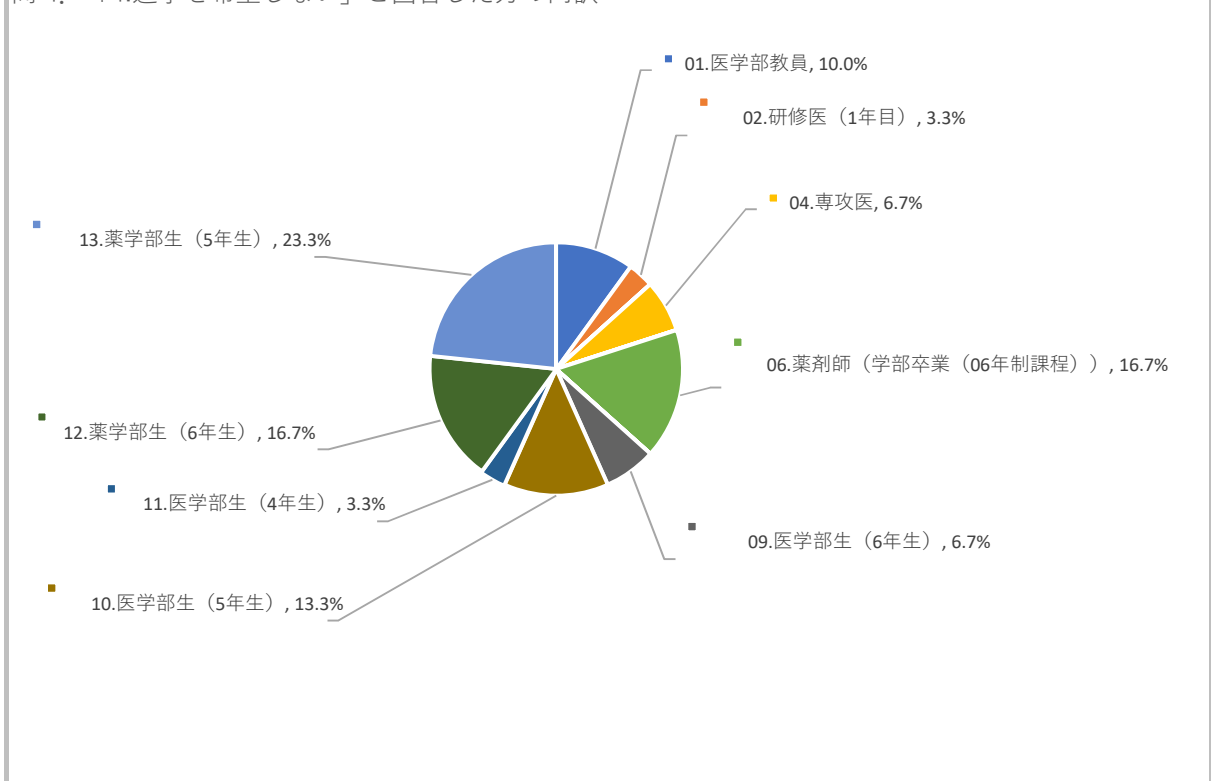


04_設問毎の集計（問4. 入学意向）

（4）「4.進学を希望しない」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	3	10.0%
02.研修医（1年目）	1	3.3%
03.研修医（2年目）	0	0.0%
04.専攻医	2	6.7%
05.看護師（修士課程修了）	0	0.0%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	5	16.7%
07.薬剤師（修士課程修了）	0	0.0%
08.医療技術職（修士課程修了）	0	0.0%
09.医学部生（6年生）	2	6.7%
10.医学部生（5年生）	4	13.3%
11.医学部生（4年生）	1	3.3%
12.薬学部生（6年生）	5	16.7%
13.薬学部生（5年生）	7	23.3%
14.薬科学	0	0.0%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	30	100.0%

問 4. 「4.進学を希望しない」と回答した方の内訳



05_設問毎の集計（問5.希望領域）

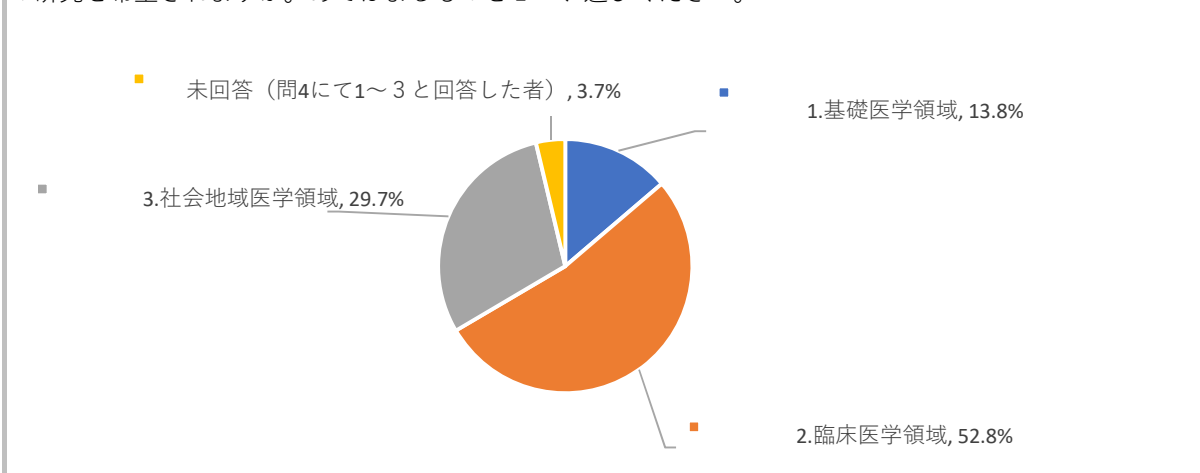
問5. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）に進学した場合、どの学問領域での研究を希望されますか。

1. アンケート有効回答者数・・・・・・・・・・・・・・ 269 名

2. 回答内訳

回答	人数	割合
1.基礎医学領域	37	13.8%
2.臨床医学領域	142	52.8%
3.社会地域医学領域	80	29.7%
未回答（問4にて1～3と回答した者）	10	3.7%
計	269	100.0%

問5. 東北医科薬科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）（仮称）に進学した場合、どの学問領域での研究を希望されますか。あてはまるものを1つお選びください。



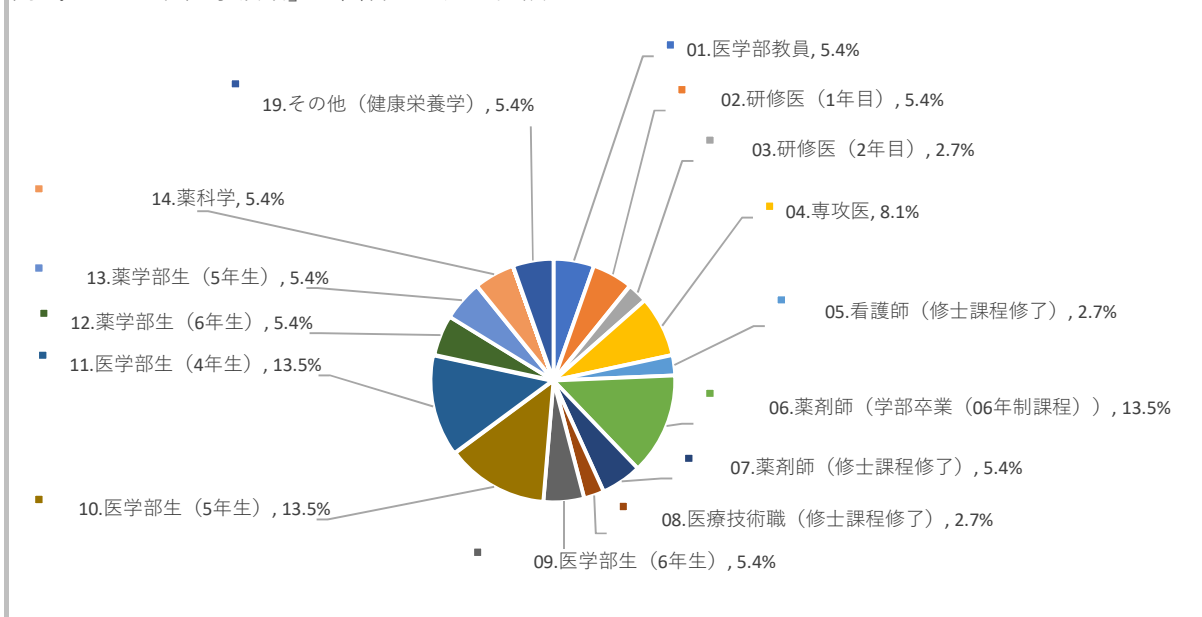
05_設問毎の集計（問5.希望領域）

3. 回答毎の内訳

（1）「1.基礎医学領域」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	2	5.4%
02.研修医（1年目）	2	5.4%
03.研修医（2年目）	1	2.7%
04.専攻医	3	8.1%
05.看護師（修士課程修了）	1	2.7%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	5	13.5%
07.薬剤師（修士課程修了）	2	5.4%
08.医療技術職（修士課程修了）	1	2.7%
09.医学部生（6年生）	2	5.4%
10.医学部生（5年生）	5	13.5%
11.医学部生（4年生）	5	13.5%
12.薬学部生（6年生）	2	5.4%
13.薬学部生（5年生）	2	5.4%
14.薬科学	2	5.4%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	2	5.4%
計	37	100.0%

問5. 「1.基礎医学領域」と回答した方の内訳

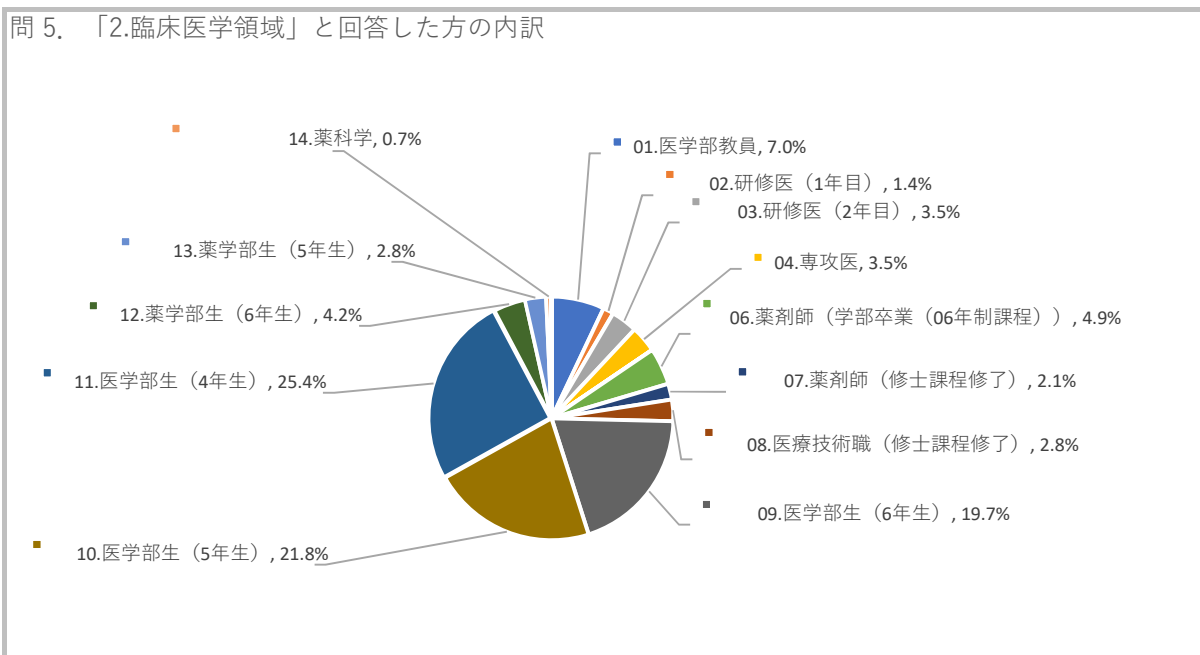


05_設問毎の集計（問5.希望領域）

（2）「2.臨床医学領域」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	10	7.0%
02.研修医（1年目）	2	1.4%
03.研修医（2年目）	5	3.5%
04.専攻医	5	3.5%
05.看護師（修士課程修了）	0	0.0%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	7	4.9%
07.薬剤師（修士課程修了）	3	2.1%
08.医療技術職（修士課程修了）	4	2.8%
09.医学部生（6年生）	28	19.7%
10.医学部生（5年生）	31	21.8%
11.医学部生（4年生）	36	25.4%
12.薬学部生（6年生）	6	4.2%
13.薬学部生（5年生）	4	2.8%
14.薬科学	1	0.7%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	142	100.0%

問 5. 「2.臨床医学領域」と回答した方の内訳

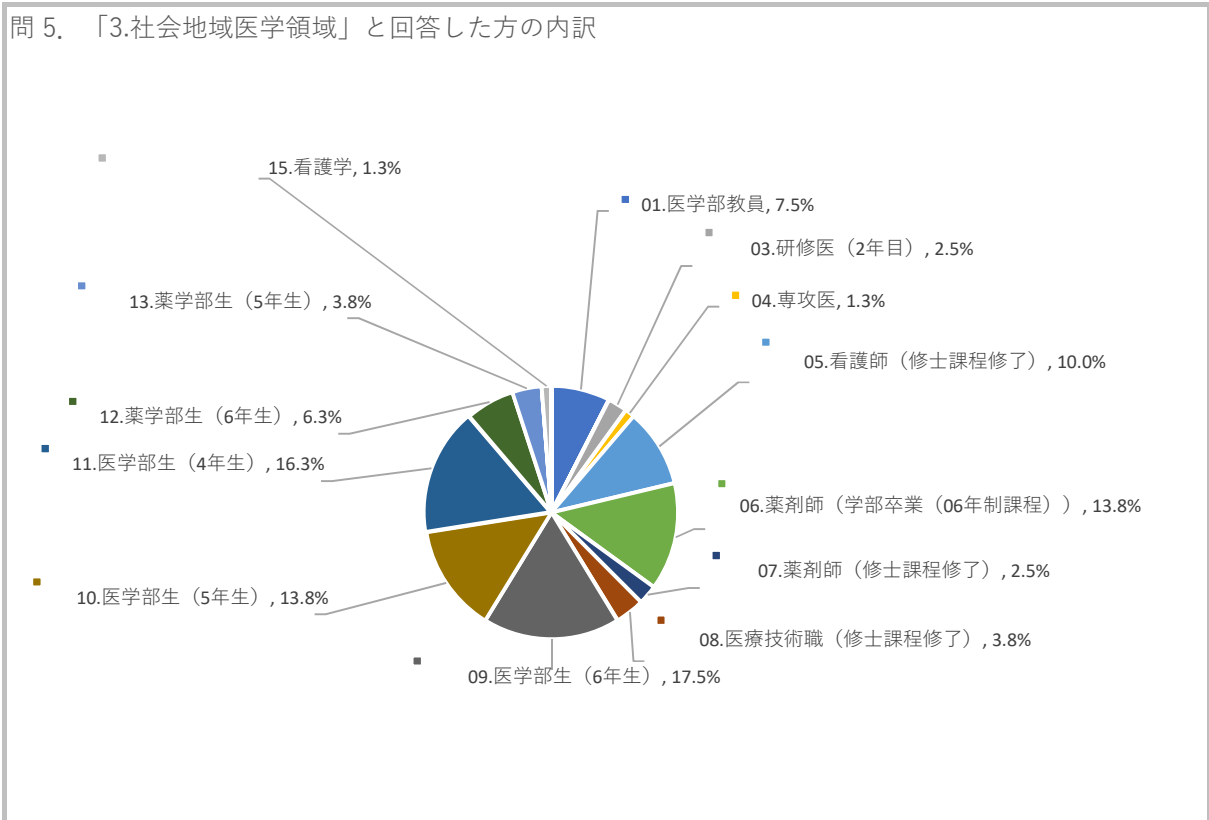


05_設問毎の集計（問5.希望領域）

(3) 「3.社会地域医学領域」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	6	7.5%
02.研修医（1年目）	0	0.0%
03.研修医（2年目）	2	2.5%
04.専攻医	1	1.3%
05.看護師（修士課程修了）	8	10.0%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	11	13.8%
07.薬剤師（修士課程修了）	2	2.5%
08.医療技術職（修士課程修了）	3	3.8%
09.医学部生（6年生）	14	17.5%
10.医学部生（5年生）	11	13.8%
11.医学部生（4年生）	13	16.3%
12.薬学部生（6年生）	5	6.3%
13.薬学部生（5年生）	3	3.8%
14.薬科学	0	0.0%
15.看護学	1	1.3%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	80	100.0%

問 5. 「3.社会地域医学領域」と回答した方の内訳

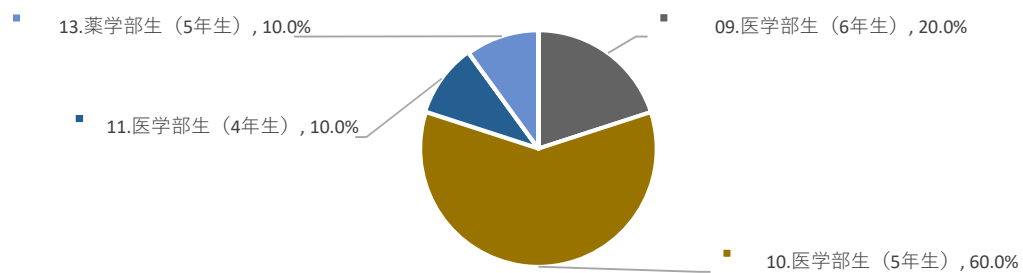


05_設問毎の集計（問5.希望領域）

（4）問4にて1～3と回答した内未回答の方

回答	人数	割合
01.医学部教員		0.0%
02.研修医（1年目）		0.0%
03.研修医（2年目）		0.0%
04.専攻医		0.0%
05.看護師（修士課程修了）		0.0%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））		0.0%
07.薬剤師（修士課程修了）		0.0%
08.医療技術職（修士課程修了）		0.0%
09.医学部生（6年生）	2	20.0%
10.医学部生（5年生）	6	60.0%
11.医学部生（4年生）	1	10.0%
12.薬学部生（6年生）		0.0%
13.薬学部生（5年生）	1	10.0%
14.薬科学		0.0%
15.看護学		0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	10	100.0%

問5. 「問4にて1～3と回答した内未回答の方」の内訳



06_設問毎の集計（問6. 学習環境）

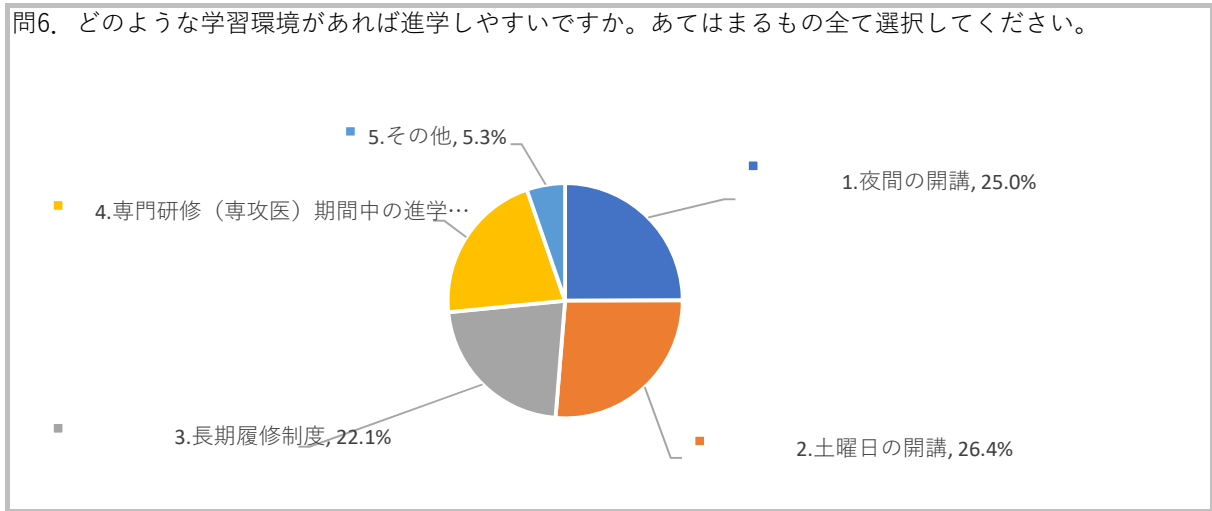
問6. どのような学習環境があれば進学しやすいですか。あてはまるもの全て選択してください。

1. アンケート有効回答数・・・・・・・・・・・・ 569 件

2. 回答内訳

回答	人数	割合
1.夜間の開講	142	25.0%
2.土曜日の開講	150	26.4%
3.長期履修制度	126	22.1%
4.専門研修（専攻医）期間中の進学環境	121	21.3%
5.その他	30	5.3%
計	569	100.0%

問6. どのような学習環境があれば進学しやすいですか。あてはまるもの全て選択してください。



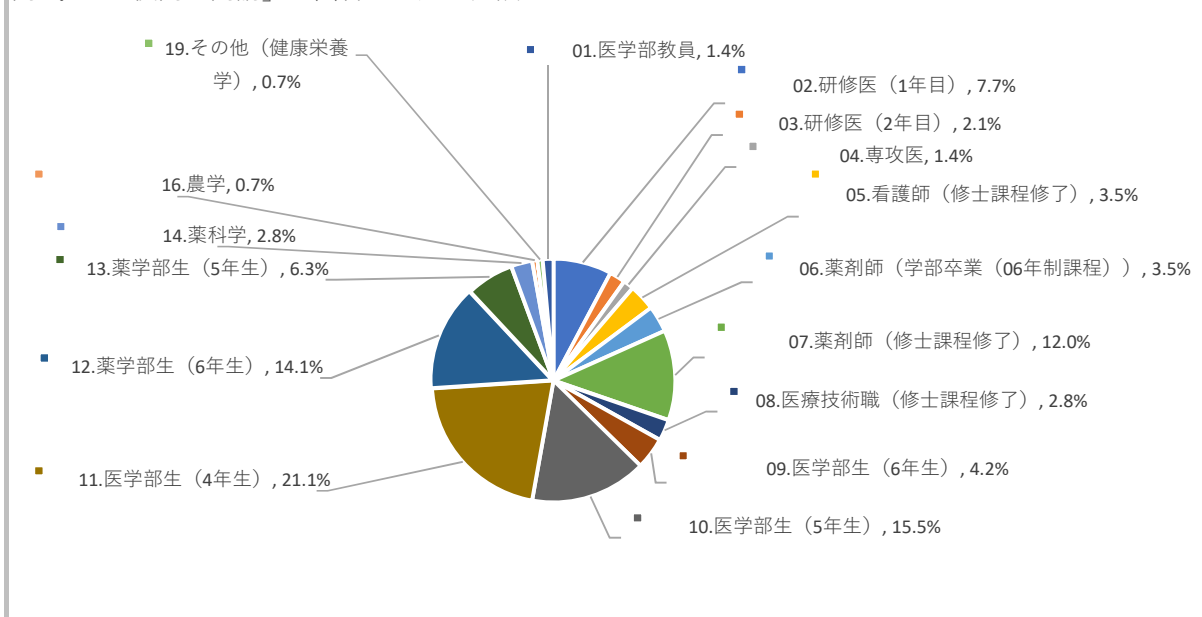
06_設問毎の集計（問6. 学習環境）

3. 回答毎の内訳

(1) 「1.夜間の開講」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	11	7.7%
02.研修医（1年目）	3	2.1%
03.研修医（2年目）	2	1.4%
04.専攻医	5	3.5%
05.看護師（修士課程修了）	5	3.5%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	17	12.0%
07.薬剤師（修士課程修了）	4	2.8%
08.医療技術職（修士課程修了）	6	4.2%
09.医学部生（6年生）	22	15.5%
10.医学部生（5年生）	30	21.1%
11.医学部生（4年生）	20	14.1%
12.薬学部生（6年生）	9	6.3%
13.薬学部生（5年生）	4	2.8%
14.薬科学	1	0.7%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
15.看護学	1	0.7%
19.その他（健康栄養学）	2	1.4%
計	142	100.0%

問6. 「1.夜間の開講」と回答した方の内訳

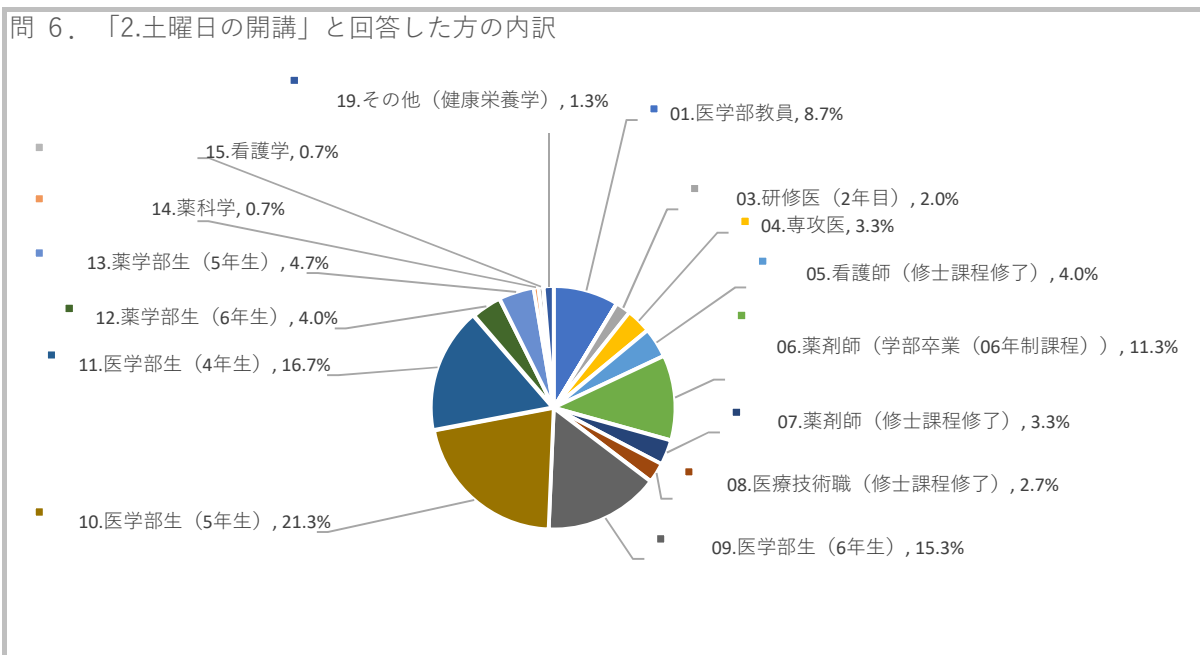


06_設問毎の集計（問6. 学習環境）

（2）「2.土曜日の開講」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	13	8.7%
02.研修医（1年目）	0	0.0%
03.研修医（2年目）	3	2.0%
04.専攻医	5	3.3%
05.看護師（修士課程修了）	6	4.0%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	17	11.3%
07.薬剤師（修士課程修了）	5	3.3%
08.医療技術職（修士課程修了）	4	2.7%
09.医学部生（6年生）	23	15.3%
10.医学部生（5年生）	32	21.3%
11.医学部生（4年生）	25	16.7%
12.薬学部生（6年生）	6	4.0%
13.薬学部生（5年生）	7	4.7%
14.薬科学	1	0.7%
15.看護学	1	0.7%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	2	1.3%
計	150	100.0%

問 6. 「2.土曜日の開講」と回答した方の内訳

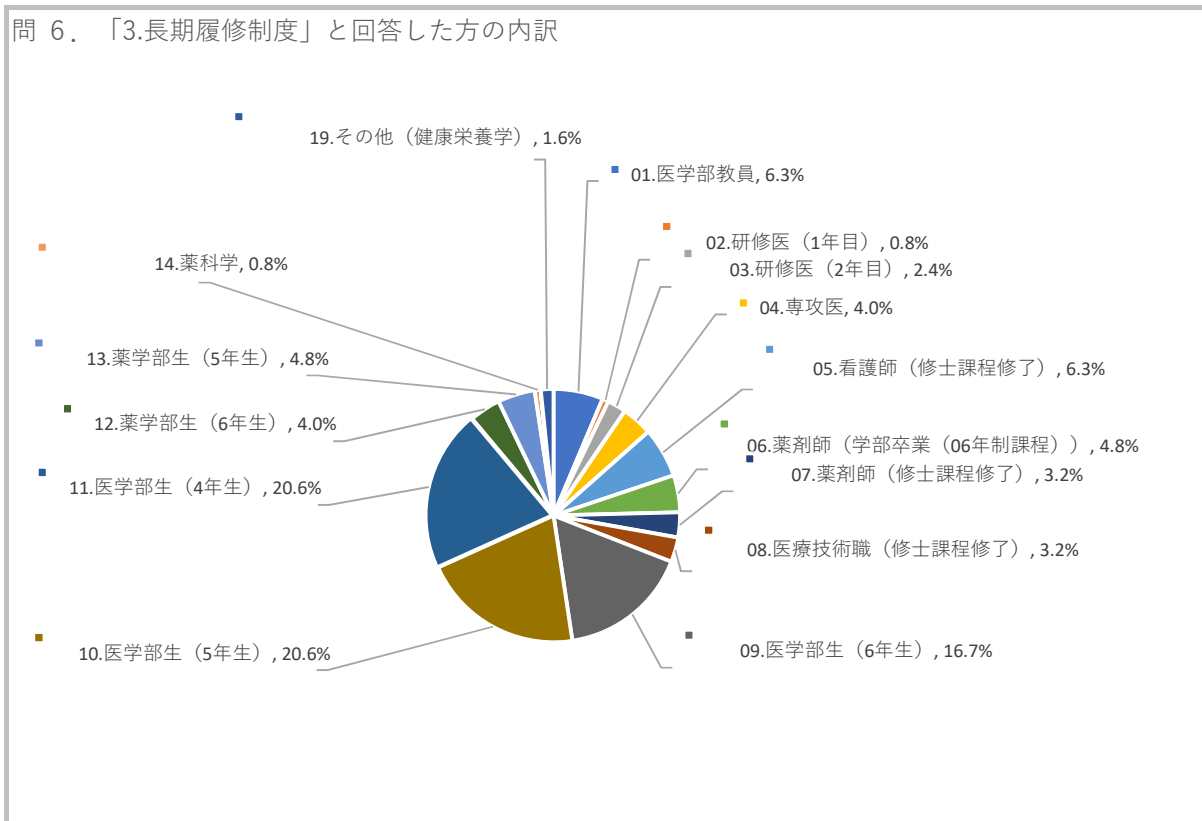


06_設問毎の集計（問6. 学習環境）

（3）「3.長期履修制度」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	8	6.3%
02.研修医（1年目）	1	0.8%
03.研修医（2年目）	3	2.4%
04.専攻医	5	4.0%
05.看護師（修士課程修了）	8	6.3%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	6	4.8%
07.薬剤師（修士課程修了）	4	3.2%
08.医療技術職（修士課程修了）	4	3.2%
09.医学部生（6年生）	21	16.7%
10.医学部生（5年生）	26	20.6%
11.医学部生（4年生）	26	20.6%
12.薬学部生（6年生）	5	4.0%
13.薬学部生（5年生）	6	4.8%
14.薬科学	1	0.8%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	2	1.6%
計	126	100.0%

問 6. 「3.長期履修制度」と回答した方の内訳

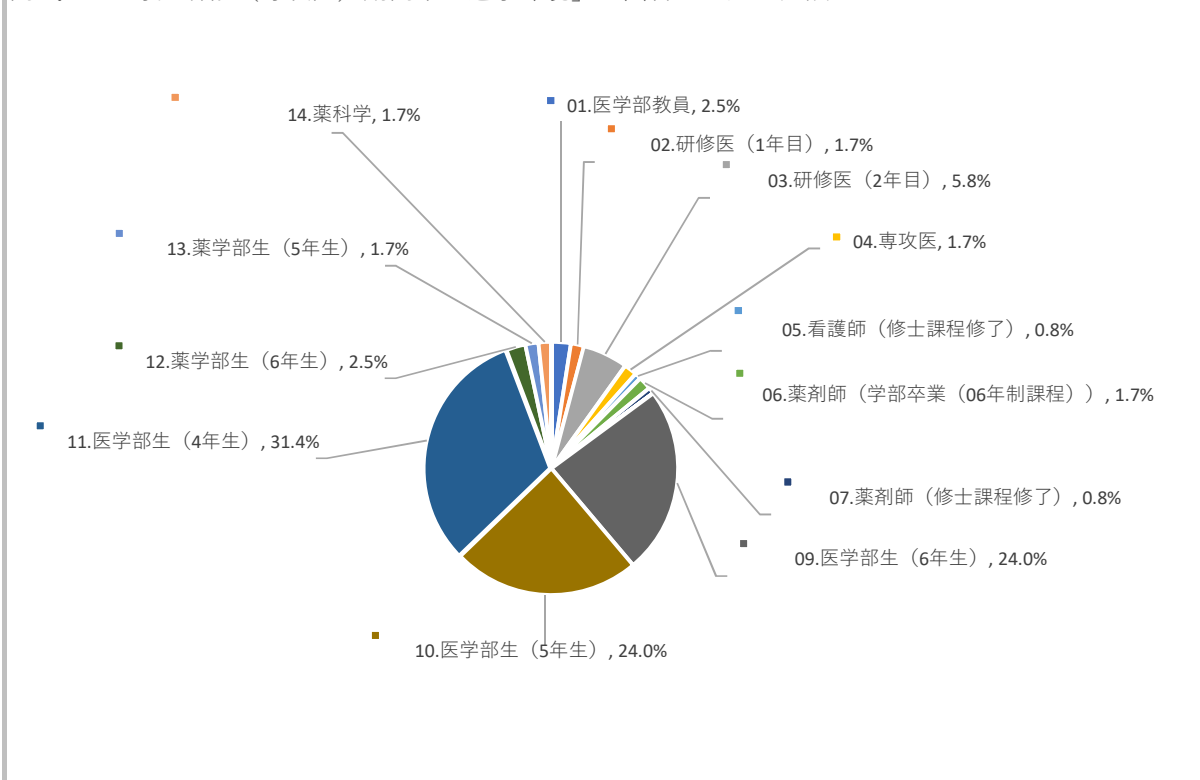


06_設問毎の集計（問6. 学習環境）

（4）「4.専門研修（専攻医）期間中の進学環境」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	3	2.5%
02.研修医（1年目）	2	1.7%
03.研修医（2年目）	7	5.8%
04.専攻医	2	1.7%
05.看護師（修士課程修了）	1	0.8%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	2	1.7%
07.薬剤師（修士課程修了）	1	0.8%
08.医療技術職（修士課程修了）	0	0.0%
09.医学部生（6年生）	29	24.0%
10.医学部生（5年生）	29	24.0%
11.医学部生（4年生）	38	31.4%
12.薬学部生（6年生）	3	2.5%
13.薬学部生（5年生）	2	1.7%
14.薬科学	2	1.7%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	121	100.0%

問6. 「4.専門研修（専攻医）期間中の進学環境」と回答した方の内訳

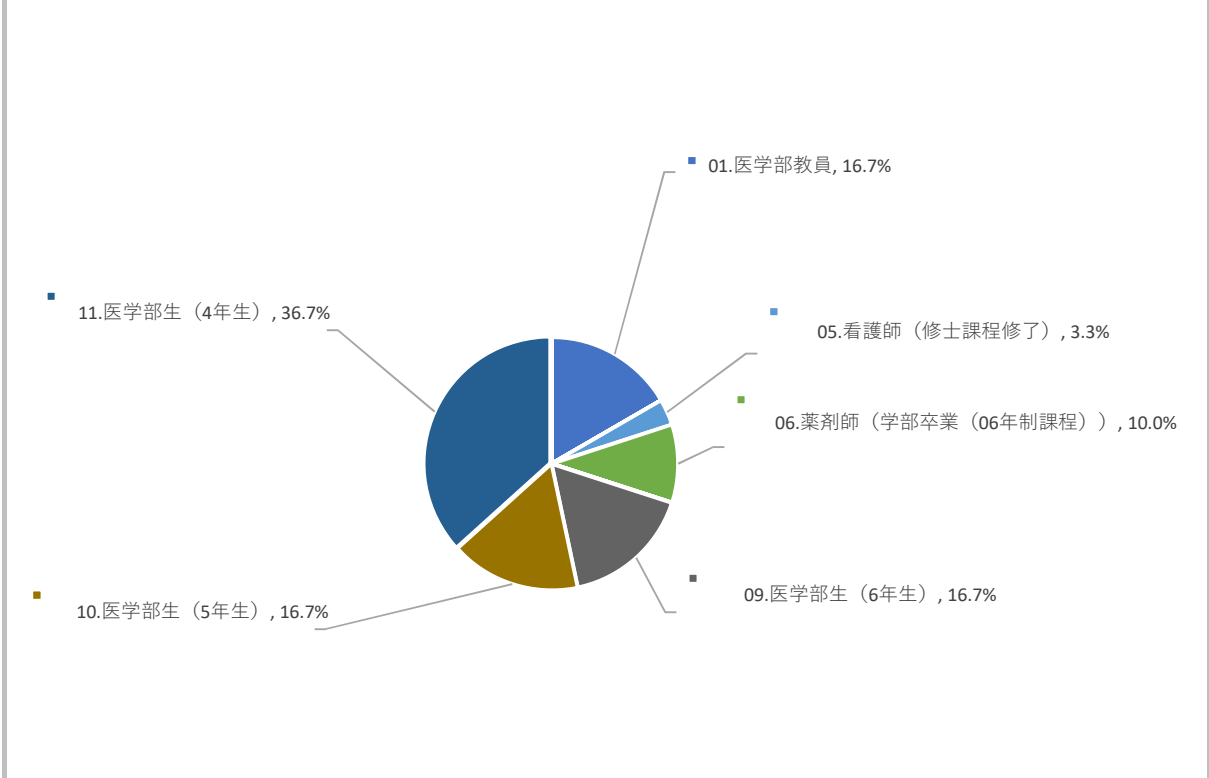


06_設問毎の集計（問6. 学習環境）

(5) 「5.その他」と回答した方

回答	人数	割合
01.医学部教員	5	16.7%
02.研修医（1年目）	0	0.0%
03.研修医（2年目）	0	0.0%
04.専攻医	0	0.0%
05.看護師（修士課程修了）	1	3.3%
06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	3	10.0%
07.薬剤師（修士課程修了）	0	0.0%
08.医療技術職（修士課程修了）	0	0.0%
09.医学部生（6年生）	5	16.7%
10.医学部生（5年生）	5	16.7%
11.医学部生（4年生）	11	36.7%
12.薬学部生（6年生）	0	0.0%
13.薬学部生（5年生）	0	0.0%
14.薬科学	0	0.0%
15.看護学	0	0.0%
16.農学	0	0.0%
17.理学	0	0.0%
18.工学	0	0.0%
19.その他（健康栄養学）	0	0.0%
計	30	100.0%

問6. 「5.その他」と回答した方の内訳



06_設問毎の集計（問6. 学習環境）

5.その他の具体的内容

	回答者区分	進学希望※	コメント内容（原文ママ）
1	01.医学部教員	1	オンライン
2	01.医学部教員	1	イーラーニング、ウェブ等
3	01.医学部教員	1	オンライン
4	01.医学部教員	2	学費の補助
5	01.医学部教員	3	基本的にオンラインのプログラム（育児中のため）
6	05.看護師（修士課程修了）	3	対面とリモート併用
7	06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	1	4年制卒の人を受け入れる体制はないのでしょうか？
8	06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	3	自由に研究する環境があること
9	06.薬剤師（学部卒業（06年制課程））	3	小松島での社会人大学院を経た感想だが、土曜や夜間の開講は必要と思うと同時に、平日日中の集会などは2週間以上前に最初の連絡と、数日前のリマインドをいただけると非常に助かると思いました。
10	09.医学部生（6年生）	3	単位習得のためのオンラインでの受講環境
11	09.医学部生（6年生）	3	オンライン
12	09.医学部生（6年生）	3	県外勤務でも可能
13	09.医学部生（6年生）	3	映像授業
14	10.医学部生（5年生）	1	宮城A枠でも入学し、卒業できる学習環境
15	10.医学部生（5年生）	1	オンラインを利用した環境
16	10.医学部生（5年生）	3	オンライン
17	10.医学部生（5年生）	3	オンライン（宮城県以外で働かざるを得ない地域枠の人向け）
18	10.医学部生（5年生）	3	通学せずオンラインでの聴講ができる。
19	11.医学部生（4年生）	1	女性ライフイベントへの配慮
20	11.医学部生（4年生）	2	リモートでの受講可
21	11.医学部生（4年生）	2	宮城県以外の修学資金枠の場合通いつらい上に義務年限とどう折り合いをつけていいかわからない
22	11.医学部生（4年生）	2	A枠宮城の学生も通えるプラン
23	11.医学部生（4年生）	2	自習室の設置、県外で義務年限期間を消化している最中でも通える、臨床と並行してでき義務年限を止めなくていい、
24	11.医学部生（4年生）	2	まだよくわからない。
25	11.医学部生（4年生）	3	修学資金枠の勤務義務と並行して学習できる環境
26	11.医学部生（4年生）	3	遠隔での開講
27	11.医学部生（4年生）	3	遠隔での教育
28	11.医学部生（4年生）	3	海外留学支援

※ 進学希望の欄については問4の回答を下記の番号に倣って記載している。

- 1.進学を希望する・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2.開設後、5年以内の進学を検討する・・・・・・2
- 3.将来、必要を感じた場合には進学を検討する・・・・・・3

我が国の人口のピーク*

年次	西暦（年）	人口（千人）
平成12年	2000	126,926
平成13年	2001	127,316
平成14年	2002	127,486
平成15年	2003	127,694
平成16年	2004	127,787
平成17年	2005	127,768
平成18年	2006	127,901
平成19年	2007	128,033
平成20年	2008	128,084
平成21年	2009	128,032
平成22年	2010	128,057
平成23年	2011	127,834
平成24年	2012	127,593
平成25年	2013	127,414
平成26年	2014	127,237

*人口推計（長期時系列データ）. E-stat. <https://www.e-stat.go.jp>

将来推計人口*

（出生中位・死亡中位推計）

年次	西暦（年）	全人口（千人）	65歳以上人口 （千人, カッコ内は%）
平成27年	2015	127,095	33,868 (26.6)
令和2年	2020	125,325	36,192 (28.9)
令和7年	2025	122,544	36,771 (30.0)
令和12年	2030	119,125	37,160 (31.2)
令和17年	2035	115,216	37,817 (32.8)
令和22年	2040	110,919	39,206 (35.3)
令和27年	2045	106,421	39,192(36.8)
令和32年	2050	101,923	38,406 (37.7)
令和37年	2055	97,441	37,042 (38.0)
令和42年	2060	92,840	35,403 (38.1)
令和47年	2065	88,077	33,810 (38.4)

*国立社会保障・人口問題研究所. 日本の将来推計人口（平成29年推計）, p. 36.
https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2017/pp_zenkoku2017.asp.

東北6県における人口の変化*

	2015（平成27）年（千人）		2040（令和22）年（千人）		2040年（2015年 = 100）	
	全人口	65歳以上人口 （カッコ内は%）	全人口	65歳以上人口 （カッコ内は%）	全人口	65歳以上人口
宮城県	2,334	600 (25.7)	1,933	733 (37.9)	82.8	122.2
青森県	1,308	394 (30.1)	909	403 (44.3)	69.5	102.3
岩手県	1,280	389 (30.4)	958	395 (41.2)	74.8	101.5
秋田県	1,023	346 (33.8)	673	320 (47.5)	65.8	92.5
山形県	1,124	346 (30.8)	834	342 (41.0)	74.2	98.8
福島県	1,914	549 (28.7)	1,426	602 (42.2)	74.5	109.7
東北6県	8,983	2,624 (29.2)	6,733	2,795 (41.5)	75.0	106.5
全国	127,095	33,868 (26.6)	110,919	39,206 (35.3)	87.3	115.8

*国立社会保障・人口問題研究所. 日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）, p. 16およびp. 25.
<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp>.

圏域マネジメントと二層制の柔軟化*

- 地方圏における現在の対応（市町村間連携と都道府県の補完）
- 連携中枢都市圏
- 圏域マネジメント（地方圏）の課題
 - 医療法に基づく二次医療圏は、現在、都道府県が設定している。連携中枢都市圏で調整して対応（救急医療体制確保、圏域内病院間の連携、在宅医療介護連携等）することができれば、県境を越えて広がる住民の生活実態等に即し、圏域の医療・介護サービス供給体制を構築することができるのではないか。
- 小規模市町村の状況
- 都道府県による市町村の補完
- 遠隔地の自治体間の連携

自治体戦略2040構想研究会. 自治体戦略2040構想研究会第二次報告：人口減少下において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか. 平成30年7月.
https://www.soumu.go.jp/main_content/000562117.pdf.

国土のグランドデザイン2050 基本的考え方

(1) コンパクト+ネットワーク

約民れる。リット
制国られく
な限らつ
々も、め
様では求方
はに「がえ」
国おめと考
がにたこう
我下くすい
、約い出と
等制てみ「コ
境らし生ク「
環れ進を一
・二増トワ
一増トワ
ギい持フツ
ルて維トネ
ネをウ「この
エな力ア十
く活の「一
況しのくト
状、経済多
政す経け
財す社会
いす社
しま、き
蔽後しで
化、今保
化、確と
高、心ト
、安ッ、
少、心ト
減面全
口直安
人へのた

①質の高いサービスを効率的に提供する

人へのたそ
口直安
減面全
少、心ト
、安ッ、
高、心ト
、安ッ、
少、心ト
減面全
口直安
人へのた

②新たな価値を創造する

- (2) 多様性と連携による国土・地域づくり
- (3) 人と国土の新たなかかわり
- (4) 世界の中の日本
- (5) 災害への粘り強くしなやかな対応
- (6) 国土づくりの理念

*国土交通省. 国土のグランドデザイン2050：対流促進型国土の形成. 平成26年3月.
https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000043.html.

団塊の世代の後期高齢者入りを見据えた 基盤強化・全世代型社会保障改革*

- 効率的な医療提供体制の構築や一人当たり医療費の地域強化や医療費適正化計画の在り方の見直しを行う。
- 具体的には、前者に比べて、地域医療構想調整会議における協力の促進を図る。また、後者の見込み率担保の対

*内閣府. 経済財政運営と改革の基本方針2021（閣議決定）、令和3年6月.
<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2021/decision0618.html>

地方創生に資する地方大学が目指すべき方向性*

- 1. ニーズオリエンテッドな大学改革
- 2. 地域でのプレゼンスの発揮
 - ・ パートナーについてのマインドチェンジ
 - ・ 「地域」の考え方
 - ・ 地域の人材育成を先導する地方大学
 - ・ 地域産業の磨き上げに資する地方大学
 - ・ 新産業創出の原動力としての地方大学
 - ・ 産学連携による質の高い人材育成
 - ・ 都市部で活躍する人材への訴求力
 - ・ 大学間の競争から協働へ
- 3. 大学改革を実現するためのガバナンス改革

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議。地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議 取りまとめ。令和2年12月。
https://www.chisou.go.jp/sousei/meeting/chihoudaigaku_miryokujitsugen/r3-03-02.html.

魅力ある地方大学の創出*

- ・ 地方大学の等への進め、地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議。地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議 取りまとめ。令和2年12月。
 地方大学の等への進め、地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議。地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議 取りまとめ。令和2年12月。
- ・ そのため、「地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議。地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議 取りまとめ。令和2年12月。」と題し、地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議。地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議 取りまとめ。令和2年12月。
- ・ また、地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議。地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議 取りまとめ。令和2年12月。
- ・ 加えて、地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議。地方創生に資する魅力ある地方大学の現に向けた検討会議 取りまとめ。令和2年12月。

*内閣官房まち・ひと・しごと創生本部。まち・ひと・しごと創生基本方針2021（閣議決定）。令和3年6月。
<https://www.chisou.go.jp/sousei/info/index.html#an20>.

医療分野の研究開発に関する成果目標*

	アウトプット	アウトカム
医薬品プロジェクト	臨床POC (proof of concept)の取得件数	シーズの企業への導出件数 薬事承認件数 創薬等の効率化に資する先進手法の企業導出件数 研究成果を活用した臨床試験・治験への移行状況
医療機器・ヘルスケアプロジェクト	ヘルスケア関連機器等の実証完了件数	シーズの他事業や企業等への導出件数 クラスⅢ・Ⅳ医療機器の薬事承認件数 ヘルスケア関連機器等の上市等の件数 研究成果を活用した臨床試験・治験への移行状況
再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト	治験に移行した研究課題数 臨床研究に移行した研究課題数	シーズの他事業への導出件数 企業へ導入される段階に至った研究課題数 薬事承認件数 関連する国際的なガイドライン等策定への参画状況 研究成果を活用した臨床試験・治験への移行状況 遺伝子治療の製造に関する要素技術の研究開発の進展状況
ゲノム・データ基盤プロジェクト	臨床POCの取得件数	アカデミア、企業によるデータ基盤の利活用実績 シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数 臨床的に実用可能なバイオマーカー等の開発件数 疾患の原因となる遺伝子変異に基づく新規の診断・治療法の開発件数
疾患基礎研究プロジェクト	—	シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数
シーズ開発・研究基盤プロジェクト	医師導治験届の提出件数	シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数 医薬品等の薬事承認申請の件数

*健康医療戦略推進本部. 医療分野研究開発計画（健康・医療戦略推進本部決定）. 令和3年4月.
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/senryaku/index.html>